HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	霧社事件関連文献目録
Author(s)	北村, 嘉恵
Citation	教育史・比較教育論考, 20, 74-107
Issue Date	2010-06-30
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/43759
Type	bulletin (other)
File Information	kitamura2.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

霧社事件関連文献目録

北村嘉恵

はじめに

本目録をとりまとめた直接的な契機は、日本台湾学会第 11 回学術大会のシンポジウム「台湾原住民族にとっての霧社事件」(2009 年 6 月 6 日、於日本大学)での報告を引き受けたことにある[1]。霧社事件(1930 年 10 月)については、台湾先住民族に関わる研究としては例外的に多くの文献が蓄積されてきた。また、狭義の学術研究に限らず、回想録、ルポルタージュ、旅行記、小説、絵本、漫画、映画、演劇、音楽等の主題としても、広く取り上げられてきた。このような霧社事件への関心の集中に違和感を拭えないでいるわたしにとって、霧社事件を主題とするシンポジウムの報告を引き受けるにあたり既往の蓄積を整理・検討することがまず不可欠な作業だと思われたからである。霧社事件という歴史的経験をめぐる記憶や叙述の形成に日本の研究者がどのように関わってきたのか、その中で何を主題化し何を排除してきたのか。こうした問題を既往の蓄積に即して吟味することが、「台湾原住民族にとって」という重要かつ難しい問いを追究していくうえでも、台湾先住民族に関する歴史叙述・歴史認識を深めていくうえでも、必要不可欠だと考えた。

上述のシンポジウム報告では、既往の蓄積と課題をふまえつつ、台湾先住民族の近代の歴史経験に接近するひとつの試みとして、霧社蜂起に加わらずかつ事件と無関係ではありえなかった人々の存在に着目して、霧社事件の「前」と「後」にわたる歴史過程を素描した。霧社事件そのものに関する叙述の深化の可能性を探るとともに、霧社蜂起をいわば「頂点」とするような歴史叙述・歴史認識をどう乗り越えていけるのかという課題を強く意識した試みでもあった。結果として、当初念頭にあった、近年の研究動向とその課題については十分に論じることができなかった。今後の研究深化のための基礎作業として、まずは現時点までの蓄積を整理しておきたいと考え、「霧社事件関連文献目録」をとりまとめて

---

[1] 本シンポジウムの記録は、「特集「台湾原住民族にとっての霧社事件」」として『日本台湾学会報』第 12 号(2010 年)に掲載されている。この特集には、趣旨説明(駒込武「「台湾原住民族にとっての霧社事件」 ―特集に寄せて」)、報告 3 本(タクン・ワリス「ガヤと霧社事件」、呉密察「霧社事件研究の課題」、北村嘉恵「「台湾原住民族にとっての霧社事件」を問う」)、コメント 2 本(春山明哲「霧社事件研究の回顧と展望」、下村作次郎「「ガヤ」回復への歩み ―霧社事件研究の意味を考える」)、および参考資料 3 点(ダッキス・パワン「Kari Alang Nu Gluban(清流部落簡史)」、タクン・ワリス「Takun Walis 邱建堂 口述歴史」、「Nguhan 家族族譜(抜粋)」)を収める。

公刊することとした。

本目録の作成にあたっては、河原功編「霧社蜂起事件関係文献目録」(戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件　―研究と資料』社会思想社、1981 年、581-598 頁)が基盤となった。その収録対象は、霧社蜂起から目録編纂時点までの約 50 年間(1930 年 11 月～1981 年 2 月)に、台湾および日本で著された単行本、稿本、雑誌記事(新聞記事は対象外)293 点である。これを発行の時期および地域別にみれば、1945 年以前 170 点(台湾 108、日本(内地)62)、1945 年以降 123 点(台湾 48、日本 75)となる。その後、台湾先住民族に関する文献目録が日本国内でいくつか公刊されているが、霧社事件に関して同目録の網羅性は際だっている。

本目録では、1945 年から現在に至るまでの約 60 年間を対象として、日文、中文、英文で公刊された文献を中心に整理を行い、約 610 点を採録した。近年の研究動向を窺うデータとして修士論文・博士論文を加えたほか、1980 年以前の文献についても河原による目録データに若干の追補・修正を加えた。覆刻資料については、霧社事件への言及が一定程度まとまって含まれるものにとどめた。また、台湾通史や回想録、あるいは表象研究等での部分的な言及まで視野に入れると、なお相当の分量になるものと推察される。新聞記事、シンポジウム論文集、パンフレット等のほか、映像や音源等の情報については、ほとんど未採録である[2]。また、日本および台湾以外の地域で刊行されたものについてはなお調査が不十分であり、あわせて継続的な課題としたい。採録したデータについては、原則として原本の確認を行うよう努めたが、一部に未確認のものを含む。網羅性という点ではなお課題が残るけれども、霧社事件をめぐる関心、主題、アプローチの動向や数量的な推移等を通覧する手がかりとなるだろう。

2　この点、許鈞淑「霧社事件文本的記憶与認同研究」(台南・国立成功大学台湾文学研究所修士論文、2005 年)付録の「霧社事件文本総目」は、小説・漢詩・新詩・散文等の文学作品の初出情報のほか、各種の文学賞受賞作品や、映画、ドラマ、音楽等の幅広いジャンルに目配りをした目録となっており、近年の動向を窺う手がかりとなる。また、財団法人台湾協会編『台湾協会所蔵　図書・資料目録』(1993 年 6 月)には、台湾縁故者の回想録や関係団体の会報等の書誌が比較的多く掲載されている。

凡例

1．　本目録は、1945 年 8 月から 2009 年 12 月までに公刊された霧社事件に関連する文献を収録したものである。

　新聞記事については、未調査のものが多いため、本目録の収録対象外とした。ただし、書評記事は調査の及んだ限りで収録した。霧社事件周年記念事業等の報告集・冊子や、シンポジウムの論文集、個人・団体による霧社訪問の記録の自費出版などの未刊行物についても、調査が不十分であることから基本的に収録対象外とした。

2．　本目録の構成および配列順序は、以下のとおりである。

（1）発行地により以下の分類を設けた。

Ⅰ　日本で発行されたもの

Ⅱ　台湾で発行されたもの

Ⅲ　それ以外の地域で発行されたもの

（2）文献の形態および内容により以下の分類を設け、発行地別にこれに従い配列した。

ⅰ　書籍、書籍・雑誌に収録された論文・記事、資料の翻刻・翻訳等

ⅱ　文献目録

ⅲ　修士論文、博士論文

（3）各分類の中は年代順に配列した。

3．　各文献は、それぞれに目録番号を付し、以下の事項を記載した。

a　書籍：①編著者名、②書名、③発行地・発行者、④発行年月、⑤総頁数、⑥備考

b　論文、記事：①著者名、②論文名、③掲載書誌名、④巻号、⑤発行地・発行者、⑥発行年月、⑦掲載頁、⑧備考

c　修士論文、博士論文：①著者名、②論文名、③学位授与機関・部局、④学位授与年度、⑤総頁数、⑥備考

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
Ⅰ.日本で発行された文献										
Ⅰ－ⅰ　書籍、雑誌論文・記事、資料の翻刻・翻訳等										
A	1	井上伊之助	台湾高砂族伝道の思出　(1)	『聖書の日本』	146	東京･聖書の日本社	1948年	7月	11-13	
A	2	井上伊之助	台湾高砂族伝道の思出　(2)	『聖書の日本』	147	東京･聖書の日本社	1948年	8月	15-17	
A	3	井上伊之助	台湾高砂族伝道の思出　(3)	『聖書の日本』	148	東京･聖書の日本社	1948年	10月	15-17	9・10月合併号
A	4	井上伊之助	高砂族伝道の思出	『福音と伝道』	4:2	東京･新教出版社	1949年	2月	42-46	
A	5	西川満	蕃歌	『面白倶楽部』	4:4	東京･光文社	1951年	4月		
A	6	井上伊之助	蕃社の曙　―台湾伝道の思い出			大阪･ともしび社	1951年	12月	55-59，75-83	「恩寵記　―台湾伝道の思い出」の中に、「売られていたタイヤル娘の救出」「霧社蕃蜂起す」「霧社事件とは何か」「霧社事件の張本人のミイラ」「バイバラ社入山と霧社蕃の移住」「ころりと死ぬ薬はないか」「バイバラを去ってマレッパ社へ」「腸チフスと精神病者」
A	7	西川満	蕃歌	『台湾脱出』		東京･新小説社	1952年	1月	69-111	「蕃歌」を収録。(新小説文庫)
A	8	坂口䙥子	ビッキの話	『文学者』	37	東京･十五日会	1953年	7月		
A	9	坂口䙥子	蕃地	『新潮』	50:10	東京･新潮社	1953年	10月		
A	10	坂口䙥子	蕃地			東京･新潮社	1954年	3月	270	「蕃地」「ビッキの話」「霧社」を収録。
A	11	平沢亀一郎ほか	高砂族の統治をめぐる座談会	『民族學研究』	18:1・2	東京･日本民族学協会	1954年	3月	179-190	1950年12月10日於東京、司会：宮本延人 参加者：平沢亀一郎、井上伊之助、石田英一郎、馬淵東一、宮本延人、佐山融吉、瀬川孝吉、鈴木秀夫、横尾広輔
A	12	野口昂	台湾霧社蛮人の蜂起	『人物往来』	5:3	東京･人物往来社	1956年	3月	44-49	
A	13	坂口䙥子	蕃地の女　―ルビの話	『別冊小説新潮』	10:10	東京･新潮社	1956年	7月	109-119	
A	14	山上北雷	半世紀の台湾			東京･山上仙吉	1958年	4月	249-252	「霧社事件」
A	15	平野零児	満州の陰謀者　―河本大作の運命的な足あと			東京･自由国民社	1959年	2月	219	河本大作の霧社事件調査に言及
A	16	楊杏庭	台湾の民族運動　―霧社蕃の反乱	『歴史教育』	7:2	東京･歴史教育研究会	1959年	2月	16-24	「一　台湾民族運動の略史　／二　対日平和闘争　／三　反蒋防共の民主独立運動の現段階　／四　高砂族の霧社蕃人の反乱事件」
A	17	吉屋信子	蕃社の落日	『別冊文芸春秋』	71	東京･文藝春秋	1960年	3月		のちに、吉屋信子『西太后の壺』（文藝春秋新社、1961年4月）、吉屋信子著／吉川豊子編『吉屋信子　父の果／未知の月日』（みすず書房、2003年2月）に再録。
A	18	井上伊之助	台湾山地伝道記			東京･新教出版社	1960年	9月	350	「台湾伝道の思い出」中の「売られていたタイヤル娘の救出　／霧社蕃蜂起す　／霧社事件とは何か　／霧社事件の張本人のミイラ　／バイバラ社入山と霧社蕃の移住　／バイバラを去ってマレッパ社へ　／腸チフスと精神病者」、井上伊之助『生蕃記』（警醒社書店、1926年）および、同『蕃社の曙　―台湾伝道の思い出』（ともしび社）の再録。
A	19	坂口䙥子	蕃婦ロポウの話	『詩と真実』	139	熊本･詩と真実社	1960年	11月		
A	20	坂口䙥子	蕃婦ロポウの話			東京･大和出版	1961年	4月	286	「蕃婦ロポウの話」（『詩と真実』第139号、1960年11月）、「蕃地のイヴ」、「蕃地」（『新潮』第50巻第10号、1953年10月）、「タダオ・モーナの死」を収録。
A	21	吉屋信子	西太后の壺			東京･文芸春秋新社	1961年	4月	153-184	「蕃社の落日」（『別冊文芸春秋』第71号、1960年3月）を再録。
A	22	坂口䙥子	蕃地作者のメモ	『文学者』	4:4	東京･丹羽文雄	1961年	4月	92-94	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	23	史明	台湾人四百年史　―秘められた植民地解放の一断面			東京·音羽書房	1962年	7月	429-431	「第十章　日本帝国主義下の台湾（一、総督の専制政治　／二、日本資本主義、遂に台湾を征服　／三、台湾人の反抗　／四、日本統治時代の原住民（種族絶滅から人口漸増に逆転／懐柔から鎮圧へ／原住民の反抗　―霧社事件／未開社会に文明の空気流れ入る））」、のちに新泉社から増補改訂版を出版（1974年）
A	24	山辺健太郎	日本帝国主義と植民地	『岩波講座日本歴史19　現代2』		東京·岩波書店	1963年	3月	237-239	「台湾議会の設置運動と霧社事件」
A	25	坂口樗子(談)	作家のみた霧社事件と高砂族	『暖流』	6	東京·東京大学中国同学会	1964年	11月	43-49	1964年9月3日、東大構内で行われた講演会の講演要旨および討論の記録。まとめたのは、当時東大中国同学会学術担当幹事の陳仁端。
A	26		霧社事件関係文献目録	『暖流』	6	東京·東京大学中国同学	1964年	11月	49-50	
A	27	関寛治	大陸外交の危機と三月事件　―宇垣一成とその背景	篠原一、三谷太一郎編『近代日本の政治指導』		東京·東京大学出版会	1965年	2月		河本大作の霧社事件調査に関して「河本メモワール」に言及。
A	28	井上伊之助	台湾山地医療伝道記			東京·新教出版社	1965年	4月	350	前掲『台湾山地伝道記』の再版。口絵写真、序等、一部改訂あり。
A	29	五味川純平	戦争と人間　3			東京·三一書房	1965年	7月	119-167	「運命の序曲 第三部」中の10～13
A	30	宮村堅弥	マヘボ社日誌　―台湾霧社蕃事件秘録			東京·洋々社	1965年	10月	342	
A	31	小西六郎	史料紹介　霧社事件史料	『日本近代史研究』	9	東京·法政大学近代史研究会	1968年	10月	51-57	
A	32	呉濁流／編集部訳	無花果　－台湾七十年の回想　連載第二回	『中国』	66	東京·中国の会	1969年	5月	56-73	『中国』第65-67号(1969年4-6月)に連載された第2回。原著は『台湾文芸』第19-21号(1968年4-10月)。のちに、『無花果』(台北·林白出版社、1970年）として出版。同書は1971年に台湾で発禁となる。
A	33	東京12チャンネル報道部編	台湾霧社事件　―運動会の朝の惨劇　〈証言者　小島義夫・小島源治・宮村堅弥〉	『証言・私の昭和史1　昭和初期』		東京·学芸書林	1969年	6月	98-105	1965年11月4日放映内容を載録。
A	34	戴國煇	台湾	『アジア経済』	10:6,7	千葉·アジア経済研究所	1969年	7月	53-82	
A	35	大田君枝、中川静子	霧社をたずねて　（特集　台湾高山族の反乱〈霧社事件〉）	『中国』	69	東京·中国の会	1969年	8月	2-40	「山あいに住む人々　/事件の遠因と経過　/三十年の歳月をへて/記念碑のかげに　/川中島部落で」（巻末「会のたより」欄に、「もと百七十枚ほどあったものを、スペースの都合で編集部で整理したもの」と説明あり）
A	36		霧社＝いまとむかし〈アルバム〉	『中国』	69	東京·中国の会	1969年	8月	33-36	1962年に大田君枝・中川静子が撮影した写真ほか
A	37	坂口樗子	一九四五年の彼ら　―霧社の思い出　（特集　台湾高山族の反乱<霧社事件>）	『中国』	69	東京·中国の会	1969年	8月	41-47	
A	38	『中国』編集部	今聞古聞　（特集　台湾高山族の反乱〈霧社事件〉）	『中国』	69	東京·中国の会	1969年	8月	48-50	「“朝憲紊乱／第59会帝国議会での霧社事件についての浜田国松議員（政友会）の質問から」「真紅の乱舞」（佐藤眠洋『第一／第二霧社事件誌』（台中・実業時代、1931年9月）抄録）、「霊樹の怒り／タイヤル族（万大社）の伝説から」（佐藤融吉・大西吉寿『生蕃伝説集』（台北・杉田重蔵書店、1923年11月）抄録）

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	39	『中国』編集部	資料紹介　“武装暴動を擁護せよ”　—台湾共産主義者の霧社事件評価　（特集　台湾高山族の反乱〈霧社事件〉）	『中国』	69	東京·中国の会	1969年	8月	51-57	「蕃人の暴動を擁護せよ！」（『インタナショナル』第4巻第16号、1930年12月）、蘇慕紅「台湾における民族革命について」（『プロレタリア科学』第3年第1号、1931年1月）、陣元「台湾霧社に於ける暴動」（『太平洋労働者』第1巻第11号、1930年12月）、雪嶺「霧社蕃人蜂起的真相与我們左翼団体之態度」（『新台湾大衆時報』3月号、1931年3月）を抄録。のちに、山辺健太郎『現代史資料22　台湾（2）』（みすず書房、1971年）に再録。
A	40	尾崎秀樹	霧社事件と文学　—続・植民地文学の傷痕	『思想』	548	東京·岩波書店	1970年	2月	85-94	のちに、尾崎秀樹『旧植民地文学の研究』（勁草書房、1971年）に再録。
A	41	ねずまさし	日本現代史7			東京·三一書房	1970年	6月	69-85	「第76章　台湾霧社の蜂起」
A	42	江川博通	昭和の大惨劇　霧社の血桜			千葉·江川博通	1970年	7月	356	
A	43	中川静子	日本帝国主義下の台湾　霧社事件　日中講座第八集			東京·日中友好協会（正統）永福支部	1970年	10月	53	「台湾との出会い /「私の国」が侵略したところ /一九三〇年十月　—霧社高山族の蜂起 /漢族と高山族 /佐塚家の人々 /モーナルダオの妹と近藤儀三郎 /材木運びなどの出役への不満 /吉村巡査事件からの二十日間 /霧社の歴史 /日本に抵抗するための蜂起 /一ヵ月におよんだ“鎮圧”戦 /桜部落で /花岡一郎と二郎の運命 /下山警部のスキャンダル /歓迎会の席で /第二霧社事件 /抵抗の手段となった“首狩り” /ふたつの記念碑 /ヤワイタイモさん /佐和子さんの話 /川中島部落 /高愛徳さんの話 /語ってくれた人と口をつぐんだ人と /あとがき」
A	44	佃実夫	失なわれた歴史 （ちくま少年図書館9 ）			東京·筑摩書房	1971年	1月	189-231	「マヘボの岩窟」
A	45	向山寛夫	霧社事件	『中央経済』	20:4	東京·中央経済研究所	1971年	4月	2-6	
A	46	加藤祐三	日本の満州侵略と中国	荒松雄ほか編集委員『岩波講座世界歴史27　現代4 世界恐慌期』		東京·岩波書店	1971年	4月	273-283	「一九二〇年代末三〇年代前半のアジア　日本の満州侵略と中国　／／未開の反乱」
A	47	尾崎秀樹	霧社事件と文学	尾崎秀樹『旧植民地文学の研究』		東京·勁草書房	1971年	6月	22-237	『思想』第548号（1970年2月）の再録。のちに、尾崎秀樹著／陸平舟、間ふさ子訳『旧殖民地文学的研究』（台北・人間出版社、2004年11月、398頁）として出版。
A	48	石橋湛山	霧社蕃騒擾に就ての疑惑	石橋湛山『石橋湛山全集第7巻』		東京·東洋経済新報社	1971年	9月	404-406	『東洋経済新報』1930年11月15日号の社説を載録。
A	49	中兼和津次	書評　霧社の血桜	『週刊東洋経済緊急増刊』	3629	東京·東洋経済新報社	1971年	10月	32	江川博通『昭和の大惨劇　霧社の血桜』　（1970年7月、千葉・江川博通）の書評。
A	50		グラビア　霧社事件	『アジア』	6:10	東京·アジア評論社	1971年	11月	8	
A	51	河原功	霧社事件の語るもの	『アジア』	6:10	東京·アジア評論社	1971年	11月	110-116	のちに、河原功『台湾新文学運動の展開』（研文出版、1997年）に再録。
A	52	朴慶植	霧社事件	歴史学研究会編『太平洋戦争史1　満州事変』		東京·青木書店	1971年	11月	214-215	朴慶植「Ⅰ　第一次世界大戦・ロシア革命と日本／二　ロシア革命と日本帝国主義の諸矛盾／5　朝鮮・台湾における抗日独立闘争」（『太平洋戦争史Ⅰ　満州事変』青木書店、1971年）

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	53	山辺健太郎編	現代史資料22　台湾（2）			東京·みすず書房	1971年	12月	571–725	「解説　／Ⅴ現住民の状態　／Ⅵ霧社事件」。主な収録資料は次の通り。①石塚英蔵秘書官山本光雄保管文書（東京大学史料編纂所蔵）、②台湾総督府警務局理蕃課『理蕃の概況』（1924年）、③台湾総督府『霧社事件の顛末』（1930年）、④「台湾に於ける蜂起」（『産業労働時報』第16号、1930年12月）、⑤陳元「台湾霧社に於ける暴動」（『太平洋労働者』第1巻第11号、1930年12月）、⑥「台湾蕃人の暴動を擁護せよ」（1930年、『台湾総督府警察沿革誌第二篇・中巻』所載）、⑦「上海反帝大同盟生蕃暴動援助宣言（1930年、同前）、⑧「第二霧社事件に関する特刊」（推定1931年、同前）、⑨「蕃人の暴動を擁護せよ！」（『インタナショナル』第4巻第28号、1930年12月）、⑩「台湾霧社事件調査書」（『牧野伸顕文書』、1930年）、⑪ロードフ警察官吏駐在所勤務師玉厚の日記（1930–31年）
A	54	中村地平	中村地平全集　第二巻			東京·皆美社	1971年		496	「霧の蕃社」を収録。浅見淵「解説」
A	55	宮村堅弥	台湾蕃地旅行	『台湾協会報』	209	東京·財団法人台湾協会	1972年	2月		第209号（1972年2月）、第210号（同年3月）、第211号（同年4月）、第213号（同年6月）、第216号（同年9月）　第213号から「台湾山地旅行」と題名変更。
A	56	呉濁流	夜明け前の台湾　—植民地からの告発　（呉濁流選集　第一巻）			東京·社会思想社	1972年	6月	319	「無花果」を収録。
A	57	菅孝行	魍魎の秋に　—霧社の反乱と「神的暴力」	『創』	2:12	東京·綜合評論社	1972年	12月	50–59	
A	58	戴国煇	霧社蜂起研究の今日的意味　—台湾少数民族が問いかけるもの	『思想』	584	東京·岩波書店	1973年	2月	120–139	のちに、戴国煇『日本人とアジア』（新人物往来社、1973年）、戴国煇『新しいアジアの構図　—芳隣関係創出を求めて』（社会思想社、1977年）、戴国煇編『台湾霧社蜂起事件　—研究と資料』（社会思想社、1981年）に再録。
A	59	蜂矢宣朗	「霧社」覚書　—佐藤春夫と台湾	『天理大学学報』	24:5	天理·天理大学	1973年	3月	155–171	
A	60		アジアで日本人は何をしているか　—（現地取材）中のマホンモナの供述	『潮』	168	東京·潮出版社	1973年	6月		河原功編「霧社蜂起事件関係文献目録」によれば、「本誌ではマホンモナの供述とされているが、疑わしい。第1に、彼女は、取材班が台湾に行く前、同年2月頃に死亡している。第2に、彼女であるとして写っている老婆の写真は、マホンモナでなく、霧社の春陽村に住む別の老婆である」。
A	61	戴國煇	歴史に哭す　—花岡一郎は革命烈士か走狗か	『東京新聞』		東京·東京新聞社	1973年	8月24日夕		のちに、戴國煇『台湾と台湾人　—アイデンティティを求めて』（研文書院、1979年）に再録。
A	62	守山雅美	マヘボの洞窟			徳島·農村文化研究所	1973年	10月	19–60	「マヘボの洞窟」
A	63	戴國煇	日本人とアジア			東京·新人物往来社	1973年	10月	205–241	「霧社蜂起研究の今日的意味　—台湾少数民族が問いかけるもの」　＊『思想』第584号（1973年2月）の再録。
A	64	戴國煇	霧社蜂起と中国革命　—漢族系中国人の内なる少数民族問題（上）	『思想』	596	東京·岩波書店	1974年	2月	66–77	のちに、戴國煇『境界人の独白　—アジアの中から』　（龍渓書舎、1976年）、戴国煇編『台湾霧社蜂起事件　—研究と資料』（社会思想社、1981年）に再録。
A	65	小田俊郎	台湾医学五十年			東京·医学書院	1974年	3月	64	「蕃地の医療」
A	66	戴國煇	霧社蜂起と中国革命　—漢族系中国人の内なる少数民族問題（下）	『思想』	597	東京·岩波書店	1974年	3月	93–107	のちに、戴国煇『境界人の独白　—アジアの中から』　（龍渓書舎、1976年）、戴国煇編『台湾霧社蜂起事件　—研究と資料』（社会思想社、1981年）に再録。

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	67	史明	台湾人四百年史　―秘められた植民地解放の一断面（増補改訂版）			東京·新泉社	1974年	6月	782	
A	68	稲垣真美	セイダッカ・ダヤの叛乱（霧社事件）			東京·講談社	1975年	3月	238	
A	69	宇野利玄	台湾における「蕃人」教育　―霧社蜂起から皇軍兵士への道	『展望』	196	東京·筑摩書房	1975年	4月	34-52	のちに、戴国煇編『台湾霧社蜂起事件　―研究と資料』（社会思想社、1981年）に再録。
A	70	上沼八郎	台湾教育史	梅根悟監修『世界教育史大系2　日本教育史Ⅱ』		東京·講談社	1975年	8月	346-347	「はじめに　／第一章　台湾教育の創始　／第二章　台湾教育の整備　／第三章　台湾教育の確立（第一節　植民行政の転換　／第二節　台湾教育令（大正八年）と過渡政策　／第三節　台湾教育令（大正十一年）と学校制度の統一（（一）内地延長・同化教育の推進　／（二）学校制度の統一（初等教育の統一/中等教育の統一/師範・実業教育の統一/高等教育機関の充実/私学・籍民教育/蕃童教育　－霧社事件/社会・教育その他））　／第四章　台湾教育の終結　／あとがき
A	71	鈴木明	生きている「高砂族」の謎　―南投県仁愛郷霧社	『中央公論　歴史と人物』	6:1,2	東京·中央公論社	1976年	1·2月		のちに、鈴木明『高砂族に捧げる』（中央公論社、1977年）に再録。
A	72	森田俊介	台湾の霧社事件　―真相と背景			東京·台湾の霧社事件刊行会、発行所：東京·伸共社	1976年	3月	327	
A	73		霧社事件に関する台湾憲兵隊長報告綴	上原勇作関係文書研究会編『上原勇作関係文書』		東京·東京大学出版会	1976年	3月	631-644	台湾憲兵隊長沼川佐吉による「第二霧社事件」に関する報告（日付・1931年4月25日－5月6日）
A	74	蜂矢宣朗	文芸作品に描かれた霧社事件	『山辺道』	20	天理·天理大学国語国文学会	1976年	3月	93-109	
A	75	戴國煇	霧社蜂起と中国革命　―漢族系中国人の内なる少数民族問題	戴國煇『境界人の独白』		東京·龍渓書舎	1976年	8月	195-219	『思想』第596・597号（1974年）所載論文の再録。のちに、戴国煇編『台湾霧社蜂起事件　―研究と資料』（社会思想社、1981年）に再録。
A	76	鈴木明	南役県　仁愛郷　霧社	鈴木明『高砂族に捧げる』		東京·中央公論社	1976年	8月	259-341	「生きている「高砂族」の謎　―南投県仁愛郷「霧社」」（『中央公論　歴史と人物』第6年第1号（1976年1月）、第6年第2号（1976年2月）））
A	77	鈴木作太郎	台湾の蕃族研究　霧社事件			東京·青史社	1977年	10月	543	鈴木作太郎『台湾の蕃族研究』（台湾史籍刊行会、1932年）の復刻版
A	78	千原英之進	台湾・霧社事件及び2.28暴動の背景	『日本体育大学紀要 』	6	東京·日本体育大学	1977年	3月	121-131	のちに、千原英之進『社会学提要　―台湾·霧社事件、2.28暴動』（学文社、1980年。1984年改訂版）に再録。
A	79	鈴木明	劉家昌が映画で日本を描いた	鈴木明『続・誰も書かなかった台湾　―天皇が見た“旧帝国”はいま』		東京·サンケイ新聞社出版局	1977年	3月	99-107	「『霧社事件』の幻影」
A	80	戴國煇	霧社蜂起研究の今日的意味　―台湾少数民族が問いかけるもの	戴國煇『新しいアジアの構図』		東京·社会思想社〈現代教養文庫〉	1977年	6月	206-244	『思想』第584号（1973年）所載論文の再録。のちに、戴国煇編『台湾霧社蜂起事件　―研究と資料』（社会思想社、1981年）に再録。
A	81	松下芳男	暴動鎮圧史			東京·柏書房	1977年	11月	255-261	「台湾霧社事件」
A	82	佐木隆三	見たかもしれない青空	『オール読物』	32:11	東京·文藝春秋社	1977年	11月		のちに、『閃光に向って走れ』（文藝春秋、1978年2月）に再録。
A	83	坂口樗子	蕃社の譜　―坂口樗子作品集①			東京·コルベ出版社	1978年	3月	363	「蕃地」「蕃地のイヴ」「タダオ・モーナの死」「ビッキの話」「蕃婦ロポウの話」を収録。
A	84	春山明哲	昭和政治史における霧社事件　―植民地統治の政治過程分析	『台湾近現代史研究』	創刊	東京·台湾近現代史研究会	1978年	4月	83-126	のちに、戴国煇編『台湾霧社蜂起事件　―研究と資料』（社会思想社、1981年）、春山明哲『近代日本と台湾　―霧社事件・植民地統治政策の研究』（藤原書店、2008年）に再録。
A	85	坂口樗子	霧社　―坂口樗子作品集②			東京·コルベ出版社	1978年	6月	301	「霧社」「“蕃地”との関り」を収録。

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	86	毎日新聞社編	霧社事件	毎日新聞社編『別冊一億人の昭和史　日本植民地史3台湾・南洋』		東京·毎日新聞社	1978年	9月	28-36	
A	87	中村孝志	日本の“高砂族”統治	毎日新聞社編『別冊一億人の昭和史　日本植民地史3台湾・南洋』		東京·毎日新聞社	1978年	9月	37-39	
A	88	衛藤俊彦	台湾統治50年の歴史	毎日新聞社編『別冊一億人の昭和史　日本植民地史3台湾・南洋』		東京·毎日新聞社	1978年	9月	50-53	
A	89	戴國煇	河本大作と台湾	『歴史と地理』	281	東京·山川出版社	1979年	2月	13-15	
A	90	沙如媽	台湾、今と昔			東京·芸林書房	1979年	3月	150-183	「霧社事件」
A	91	中川浩一	高砂族皇民化の真実を探る	『歴史地理教育』	294	東京·歴史教育者協議会	1979年	8月	48-55	
A	92	戴國煇	台湾と台湾人　アイデンティティを求めて			東京·研文書院	1979年	11月	222-226	「歴史に哭す　―花岡一郎は革命烈士か走狗か」（『東京新聞』1973年8月24日付夕刊）の再録。
A	93	寺田剛	霧社・埔里・日月潭孔子廟について	『亜細亜大学教養部紀要』	19	東京·亜細亜大学教養部	1979年	6月	1-11	
A	94	又吉盛清	台湾霧社事件の県出身者　―植民地支配の人的先兵　（全6回）	『琉球新報』		那覇·沖縄新報社	1980年	9月16-23日		のちに、又吉盛清『日清戦争一〇〇年　台湾支配と日本人』（同時代社、1994年）に再録。
A	95	松田修	霧社事件、暁の虐殺　―にせ日本人の生と死	『受験の日本史』		東京·聖文社	1980年	12月	54-58	のちに、松田修『異形者の力』（青玄社、1994年）に再録。
A	96	千原英之進	社会学提要　―台湾・霧社事件、二・二八暴動			東京·学文社	1980年	3月	18-100	
A	97	鈴木明	高砂族に捧げる			東京·中央公論社	1980年	8月	339	中公文庫
A	98	中川浩一·和歌森民男編著	霧社事件　―台湾高砂族の蜂起			東京·三省堂	1980年	12月	274	
A	99	河原功	中村地平・その作品と周辺	『成蹊国文』	14	東京·成蹊大学文学部日本文学科研究室	1980年	12月	61-75	
A	100	小島麗逸	日本帝国主義の台湾山地支配　―対高山族調査史　その2	『台湾近現代史研究』	3	東京·台湾近現代史研究会	1981年	1月	5-22	
A	101	後藤均平	日本とアジアの人びと			東京·すくらむ社	1981年	2月	105-110	「霧社反乱」
A	102	中村ふじゑ	霧社抗日蜂起から五十年	『思想の科学』	127	東京·思想の科学社	1981年	2月	114-118	
A	103	奥野久次	「霧社」の回想	山本良一編『台湾への架け橋』		茨木·蓬莱会関西支部	1981年	3月	278-282	
A	104	黄昭堂	台湾総督府			東京·教育社	1981年	4月	127-130	「霧社事件」。1983年4月新装第三刷（加筆修正あり）。
A	105	戴国煇編著	台湾霧社蜂起事件　研究と資料			東京·社会思想社	1981年	6月	598	
A	106	戴国煇	序　―霧社蜂起事件の共同研究について	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京·社会思想社	1981年	6月	1-5	
A	107	田中宏	台湾総督府の対人掌握策と高山族	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京·社会思想社	1981年	6月	114-130	
A	108	春山明哲	昭和政治史における霧社蜂起事件	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京·社会思想社	1981年	6月	131-154	のちに、春山明哲『近代日本と台湾　―霧社事件・植民地統治政策の研究』（藤原書店、2008年）に再録。
A	109	戴国煇	霧社蜂起研究の概要と研究の今日的意味　―台湾少数民族が問いかけるもの	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京·社会思想社	1981年	6月	13-46	『思想』第584号（1973年）所載論文の再録。
A	110	松永正義	日本国内ジャーナリズムにおける霧社蜂起事件	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京·社会思想社	1981年	6月	155-175	のちに、松永正義『台湾を考えるむずかしさ』（研文出版、2008）年に再録。

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	111	河原功	日本文学に現われた霧社蜂起事件	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京・社会思想社	1981年	6月	176-201	のちに、河原功『台湾新文学運動の展開』（研文出版、1997年）に再録。
A	112	戴国煇	霧社蜂起と中国革命　―漢族系中国人の内なる少数民族問題	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京・社会思想社	1981年	6月	202-239	『思想』第596・597号（1974年）所載論文の再録。
A	113	大田君枝、中川静子	霧社をたずねて(抜粋)	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京・社会思想社	1981年	6月	240-251	『中国』第69号（1969年）所載論文および中川静子『日中講座第八集　日本帝国主義下の台湾　霧社事件』（1970年）の抜粋。
A	114		資料編	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京・社会思想社	1981年	6月	253-561	拓務省管理局長 生駒高常「霧社蕃騒擾事件調査復命書」、台湾総督府警務局「霧社事件誌」、〔台中州能高郡警察課〕「霧社事件ニ関スル概況説明書」、台湾軍参謀 陸軍歩兵大佐 服部兵次郎「霧社事件に就て」
A	115	小島麗逸	日本帝国主義の台湾山地支配　―霧社蜂起事件まで	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京・社会思想社	1981年	6月	47-83	
A	116	春山明哲編	霧社蜂起事件日誌	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京・社会思想社	1981年	6月	563-580	
A	117	河原功編	霧社蜂起事件関係文献目録	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京・社会思想社	1981年	6月	581-598	
A	118	宇野利玄	台湾における「蕃人」教育	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件』		東京・社会思想社	1981年	6月	84-113	『展望』第196号（1975年）所載論文の再録。
A	119	喜安幸夫	台湾統治秘史　―霧社事件に至る抗日の全貌			東京・原書房	1981年	7月	220	
A	120	小林英夫	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件 研究と資料』	『週刊読書人』	1981年9月2日号	東京・日本書籍出版協会	1981年	9月		書評
A	121	松村源太郎	台湾　今と昔			東京・時事通信社	1981年	11月	260	
A	122	蜂矢宣朗	「旅びと」覚書　―佐藤春夫と台湾、続稿	『香椎潟』	27	福岡・福岡女子大学	1982年	3月	81-89	
A	123	岡部牧夫	戴国煇編著『台湾霧社蜂起事件 研究と資料』	『歴史学研究』	504	東京・歴史学研究会	1982年	5月	28-33	書評
A	124	霧社会	思い出の霧社				1982年			財団法人台湾協会編『台湾協会所蔵　図書・資料目録』（1993年6月）
A	125	宮村堅弥	首狩族の反乱　―台湾の霧社事件秘録			宮村堅弥	1983年	1月	266	
A	126	竹中りつ子	わが青春の台湾			東京・図書出版社	1983年	5月	250	
A	127	川越守二	霧社事件	蓬莱山吹会編『台湾山砲戦記　―南十字の星のもと』		熊本・蓬莱山吹会	1984年	9月	15-20	
A	128	横尾清一	霧社事件に参戦して	蓬莱山吹会編『台湾山砲戦記　―南十字の星のもと』		熊本・蓬莱山吹会	1984年	9月	20-23	1930年10月当時、台湾山砲兵大隊第一中隊小隊長（少尉）
A	129	西村望	もう日は暮れた			東京・立風書房	1984年	10月	295	1989年に徳間書店より文庫版出版
A	130	和歌森民男	高永清『回想録』　―霧社事件とその研究にふれて	『桐朋学園大・短大紀要』	3	東京・桐朋学園大学短期大学部	1984年	11月	75-99	
A	131	見上保	台湾・霧社事件の今昔　―悲惨な事件とその裏面史			茅ケ崎・見上保	1984年	12月	259	
A	132	中村ふじゑ	ピホワリスの墓碑銘　―高永清さんを偲んで	『台湾近現代史研究』	5	東京・台湾近現代史研究会	1984年	12月	151-192	
A	133	霧社会	霧社旅行の思い出				1984年			
A	134	四倉富重夫	霧社会の歩み				1985年	8月		1976年10月26日、第一回霧社会を横浜市で開催。
A	135	折田良雄	血と民族			東京・近代文芸社	1985年	10月	216	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	136	小島晋治	二つのダッキス・ノービン像	『くさのかぜ　草風館だより』	20	東京・草風館	1985年	11月	1-3	
A	137	稲垣真美	霧社事件は二度あった	『くさのかぜ　草風館だより』	20	東京・草風館	1985年	11月	3-4	
A	138	アウイ・ヘッパハ述／許介鱗、林光明解説	証言　霧社事件　―台湾山地人の抗日蜂起			東京・草風館	1985年	12月	230	アウイヘッパハ「証言　霧社事件」（「一　タナハ・トノフン―悪い日本人ども（姉妹ヶ原のだまし討ち／虎に監視された生活／強制された出役に喘ぐ　―霧社事件の前夜）　／二　ジャングルのなかの抗日戦（一〇月二七日の血祭り／霧社台地の戦い／タロワン台地の戦い／クルフカッフルの戦い／ルクダヤの戦い／マハワンの戦い／ブットツの戦い／タロワン指揮部攻略／ハボン渓の戦い／プラズの戦い）　／三　誇り高きセーダッカ（タウツアの襲撃／川中島への移住）」）、「座談会　私の霧社事件　―アウイヘッパハ・林光明・許介鱗」（「長い沈黙のあとに／理蕃政策下の犠牲者／質の悪い日本人警察／蜂起計画はあったか／総頭目モーナルーダオのこと／蜂起の日では／漢民族は殺さなかった／花岡一郎・二郎のこと／アウイ生死間際の体験／収容所襲撃事件／経済動物の原型／川中島への移住／白虎隊計画／生きのびる辛さ／毒ガスは使用されたか／「高砂義勇隊」）、許介鱗「解説」、許介鱗編「霧社事件関係年表」
A	139	寺田勉	太陽の怒り　高砂族の反乱			東京・白帝社	1986年	1月	243	
A	140	春山明哲	書評　アウイヘッパハ著／許介鱗編『証言霧社事件　―台湾山地人の抗日蜂起』（草風館）	『中国研究月報』	461	東京・社団法人中国研究所	1986年	7月	53-54,37	のちに、春山明哲『近代日本と台湾　―霧社事件・植民地統治政策の研究』（藤原書店、2008年）に再録。
A	141	宇野利玄	台湾における「蕃人」教育	『成蹊論叢』	25	武蔵野・成蹊中学・高等学校	1986年	12月	3-38	『展望』第196号（1975年）および戴国煇編『台湾霧社蜂起事件』（社会思想社、1981年）所載論文の再掲。
A	142	河原功	大鹿卓「野蛮人」をめぐって	『成蹊論叢』	25	武蔵野・成蹊中学・高等学校	1986年	12月	42-56	
A	143	霧社会	日本旅行の思い出			下山宏	1986年			
A	144	武田英子	地図から消された島　―大久野島 毒ガス工場			東京・ドメス出版	1987年	5月	234	「毒ガス島のあゆみ／台湾霧社事件に毒ガス使用か」
A	145	向山寛夫	日本統治下における台湾民族運動史			東京・中央経済研究所	1987年	7月	1079-1116	「第五章　プロレタリア民族運動の擡頭と発展（第八節　霧社における高砂族の抗日蜂起）」。「日本統治下における台湾民族運動史」（九州大学博士論文、1961年）の改稿。
A	146	於保忠彦	台湾霧社事件秘話　―大酋長モーナの叛乱	『日本及日本人』	1587	東京・日本及日本人社	1987年	7月	150-161	
A	147	中村ふじゑ	霧社蜂起から高砂義勇隊まで	『中国研究月報』	476	東京・社団法人中国研究所	1987年	10月	1-13	
A	148	ピホワリス（高永清）著・加藤実編訳	霧社緋桜の狂い咲き　―虐殺事件生き残りの証言			東京・教文館	1988年	1月	299	高彩雲「序」、高永清「霧社緋桜の狂い咲き」、高永清「回生録　第壱冊・第二冊」、高永清「回生録　第三冊　川中島」（高彩雲「私（彩雲）の想ひ出」を含む）、「附録」、加藤実「解説」
A	149	五味川純平	惨劇　―霧社事件	『オール読物』		東京・文藝春秋社	1988年	7月		のちに、五味川純平『戦記小説集』（文藝春秋、1990年）に再録。

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	150	戴国煇	台湾　―人間・歴史・心性			東京·岩波書店	1988年	10月	77-80	「Ⅲ　日本の植民地支配　／1　台湾出兵と日清戦争　／2　日本軍の台湾進駐と抗日の複雑な諸相　／3　後藤新平の台湾統治策　／4　植民地型開発と台湾住民の抵抗（土地調査事業／植民地体制という名の「共犯構造」／羅福星事件／西来庵事件／台湾統治の変遷／霧社事件／日中戦争と台湾」
A	151	西村望	もう日は暮れた			東京·徳間書店	1989年	10月	381	
A	152	又吉盛清	日本植民地下の台湾と沖縄			宜野湾·沖縄あき書房	1990年	10月	173-199	「台湾霧社事件の沖縄人」（173-199）、のちに、又吉盛清著／魏廷朝譯『日本殖民下的台灣與沖縄』（台北・前衛出版社、1997年12月、440頁）として翻訳出版
A	153	五味川純平	戦記小説集	『文芸春秋』		東京·文藝春秋社	1990年	11月	233-253	「惨劇　―霧社事件」、1993年11月に文春文庫
A	154	台湾軍司令部編	昭和五年台湾蕃地霧社事件史			東京·中央経済研究所	1990年	7月	164	
A	155	石堂徳一	昭和5年、台湾でおきた霧社事件の背景と、かかわりのあった沖縄県人の足跡をたどる。	奨励研究(B)　02904065		沖縄·石堂徳一	1990年			沖縄県石垣市教委・主事
A	156	門脇朝秀	祖国はるか④　昭和の初期 日本と中国の迫間にゆれた人々			松戸·あけぼの会	1991年	9月	141-216	「霧社事件　只一人の生存者　オビン・タダオ（花岡初子　高彩雲）さんを訊ねて」
A	157	於保忠彦	大酋長モーナの戦い　―霧社蕃人蜂起事件秘話			佐世保·芸文堂	1991年	2月	221	
A	158	尾崎秀樹	近代文学の傷痕　―旧植民地文学論　（同時代ライブラリー71）			東京·岩波書店	1991年	6月	311	「霧社事件と文学」
A	159	古野直也	台湾軍司令部　1895～1945			東京·国書刊行会	1991年	9月	203-231	「霧社の朝」（203～231）
A	160	台湾経世新報社編	台湾大年表			東京·緑蔭書房	1992年	3月	279	台湾経世新報社編『台湾大年表』（1938年、第4版）の復刻版
A	161	河原功監修／台湾総督府編	台湾日誌　大正8年-昭和19年			東京·緑蔭書房	1992年	3月	381	『台湾時報』所載の「台湾日誌」の編集復刻
A	162	春山明哲編	十五年戦争極秘資料集　台湾霧社事件軍事関係資料			東京·不二出版	1992年	1月	16+413	春山明哲「解説　―日本陸軍にとっての霧社事件」（のちに、春山明哲『近代日本と台湾　―霧社事件・植民地統治政策の研究』（藤原書店、2008年）に再録）、「昭和五年台湾蕃地　霧社事件史（台湾軍司令部？）」「霧社事件陣中日誌　自昭和五年十月二七日／至同年十二月二日（台湾軍参謀部）」「霧社事件関係陸軍大臣官房書類綴（陸軍大臣官房）」「昭和五年台湾霧社事件給養史（台湾軍経理部）」を収録。
A	163	若林正丈	台湾植民地支配	山根幸夫ほか編『近代日中関係史研究入門』		東京·研文出版	1992年	2月	277-311	1996年に増補版刊行
A	164	郡楠昭	霧と炎　―ドキュメント小説霧社事件			東京·三一書房	1992年	7月	301	
A	165	近藤正己	台湾総督府の「理蕃」体制と霧社事件	大江志乃夫ほか編『近代日本と植民地2　帝国統治の構造』		東京·岩波書店	1992年	12月	35-60	
A	166	邱若竜画作／江淑秀、柳本通彦訳	霧社事件　―台湾先住民、日本軍への魂の闘い			東京·現代書館	1993年	4月	269	「台湾史関係年表」（263-264）、「霧社事件日誌」（265-268）
A	167	伊藤潔	台湾　―四百年の歴史と展望			東京·中央公論社	1993年	8月	121-124	「第六章　日本植民地下の近代化（文官総督と同化政策／武力抵抗から政治運動へ／台湾議会設置請願運動／総督府の対応策／治安警察法違反事件／台湾文化協会の分裂／教育の充実／産業の振興／霧社事件）

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	168	近藤正己	『理蕃の友』解題　―「理蕃政策大綱」から皇民化政策へ	『台湾総督府警務局理蕃課編『理蕃の友』別冊　解題・総目次・索引』		東京·緑蔭書房	1993年	10月	1-14	
A	169	朝倉喬司	台湾・霧社紀行　―昭和初期、台湾の抗日闘争史上、最大規模の武装反乱を起こした少数先住民タイヤル族の誇りと心に触れる旅	『月刊ASAHI』	5:10	東京·朝日新聞社	1993年	12月	289-297	
A	170	松田修	異形者の力			東京·青玄社	1994年	2月	252	「暗殺異聞」のなかの「霧社事件、暁の虐殺　―花岡義兄弟の生と死」、後に松田修『松田修著作集　第7巻』（東京・右文書院、2003年2月）に再録。
A	171	垂水千恵	坂口襾子の「時計草」について	『天理臺灣研究會年報』	3	奈良·天理台湾研究会	1994年	6月	7-10	
A	172	又吉盛清	日清戦争一〇〇年　　台湾支配と日本人			東京·同時代社	1994年	6月	120-141	「第Ⅰ部　台湾植民地支配と日本人　／第六章　台湾霧社事件（わが沖縄人の「罪業」調査の旅／「高砂族」の蜂起／「高砂族」対策に沖縄人／わが「同胞」の罪業の深さ／総督は「台湾皇帝」／事件を知ることは日本人の義務」
A	173	垂水千恵	台湾文壇の中の日本人　―坂口襾子と台湾人作家	垂水千恵『台湾の日本語文学　―日本統治時代の作家たち』		東京·五柳書院	1994年	10月	127-147	のちに、垂水千恵著／涂翠花譯『台湾的日本語文学』（台北・前衛出版社、1998年）として中文版刊行。
A	174	下村作次郎	新たな表現者の登場　―台湾原住民文学	笠原政治、植野弘子編『暮らしがわかるアジア読本　台湾』		東京·河出書房新社	1995年	8月	322	
A	175	笠原政治	先住民族に流れた四〇〇年の時間　―先住民族の歴史	笠原政治、植野弘子編『暮らしがわかるアジア読本　台湾』		東京·河出書房新社	1995年	8月	20-27	
A	176	柳本通彦	邱若龍と山地の若者たち　―劇画	笠原政治、植野弘子編『暮らしがわかるアジア読本　台湾』		東京·河出書房新社	1995年	8月	203-209	
A	177	小林岳二	霧社事件	笠原政治、植野弘子編『暮らしがわかるアジア読本　台湾』		東京·河出書房新社	1995年	8月	269-271	
A	178	柳本通彦	霧社に嫁いだある日本女性の戦後	笠原政治、植野弘子編『暮らしがわかるアジア読本　台湾』		東京·河出書房新社	1995年	8月	296-302	
A	179	春山明哲	ウットフが織り給ひし人々　―台湾先住民族の霧社蜂起と日本人	林えいだい編『台湾植民地統治史　―山地原住民と霧社事件・高砂義勇隊』		福岡·梓書院	1995年	9月	222	「「写真を読む」ために／「理蕃政策」と先住民族調査　―資料編所収「アミ族調査報告」の背景／霧社事件と日本人／「毒ガス」は使われたか／タイヤル族・セーダッカの「証言者」／ある霧社青年の日中戦争と太平洋戦争／あとがき」。のちに、春山明哲『近代日本と台湾　―霧社事件・植民地統治政策の研究』（藤原書店、2008年）に再録。
A	180	戴国煇	序に代えて　―歴史の中の写真、写真の中の歴史	林えいだい編『台湾植民地統治史　―山地原住民と霧社事件・高砂義勇隊』		福岡·梓書院	1995年	9月	222	
A	181	林えいだい	台湾植民地統治史　―山地原住民と霧社事件・高砂義勇隊			福岡·梓書院	1995年	9月	222	「第一部　植民地支配　／第二部　霧社事件　／第三部　皇民化の道　／第四部　皇軍兵士　／第五部　失った祖国　／第六部　資料編（山田良「生蕃事情　―高山蕃人・平地蕃人」／高義雄「第二次世界大戦　第一回高砂義勇隊全島感想発表」）
A	182	三留理男	現地取材・戦後５０年特別企画　「アジアの近代化」と、取り残された民　８回　台湾発「霧社事件と義勇兵・高山族」（前編）	『週刊プレイボーイ』		東京·集英社	1995年	8月15日	183-187	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	183	三留理男	現地取材・戦後５０年特別企画　「アジアの近代化」と取り残された民　９回　台湾発「霧社事件と義勇兵・高山族」（後編）	『週刊プレイボーイ』		東京･集英社	1995年	8月29日	209-213	
A	184	黒川創編	〈外地〉の日本語文学選　南方・南洋／台湾			東京･新宿書房	1996年	1月	356	佐藤春夫「魔鳥」､中村地平「霧の蕃社」を収録
A	185	坂口樗子	故旧　忘れえず	『〈外地〉の日本語文学選月報1』		東京･新宿書房	1996年	1月	6-8	「元・中山清公医で現・高永清省議院議員」と再会､「タイヤル族の移住蕃社の一夜」を回顧。
A	186	黒川創	解説　多面体の鏡	黒川創編『〈外地〉の日本語文学選　南方・南洋／台湾』		東京･新宿書房	1996年	1月	287-331	中村地平「霧の蕃社」を批評した､中野重治「文芸時評」（『東京朝日新聞』1939年12月3日）に言及。
A	187	黒川創	著者と作品について	黒川創編『〈外地〉の日本語文学選　南方・南洋／台湾』		東京･新宿書房	1996年	1月	336,339-340	佐藤春夫「魔鳥」､中村地平「霧の蕃社」
A	188	黒川創編	台湾および南方・南洋の「日本語」文学関連年表	黒川創編『〈外地〉の日本語文学選　南方・南洋／台湾』		東京･新宿書房	1996年	1月	350-356	
A	189	柳本通彦	台湾・霧社に生きる			東京･現代書館	1996年	3月	269	「序章　霧社への旅　／第一章　霧社に残った日本人　／第二章　証言・オビンタダオの半生　／第三章　棄民の里の皇軍兵士　／第四章　慰霊碑の謎」､孫大川「歴史を取り戻す台湾原住民」､「霧社フォトグラフⅠ～Ⅳ」
A	190	犬塚協太	台湾「理蕃」政策と先住民婚姻観の相剋　―霧社事件の原因をめぐる歴史社会学的一考察	アジア文化コース編『新しき世界秩序を求めて』		静岡･静岡県立大学国際関係学部	1996年	3月	385-416	
A	191	井上伊之助	台湾山地伝道記			岸和田･井上進、嘉津子	1996年	4月	371	前掲『台湾山地伝道記』の再版。序､口絵写真ほか､一部改訂を含む。
A	192	若林正丈	台湾植民地支配	山根幸夫ほか編『近代日中関係史研究入門　増補版』		東京･研文出版	1996年	4月	519	
A	193	三留理男	辺境の民　―アジアの近代化と少数民族			東京･弘文堂	1996年	6月	300	「大日本帝国に反乱､皇軍兵士としても戦った誇り高き高地民―高砂族」
A	194	高島俊男	独断!中国関係名著案内(110)　鈴木明『高砂族に捧げる』柳本通彦『台湾・霧社に生きる』	『東方』	183	東京･東方書店	1996年	6月	14-16	
A	195	中村吾郎	ハイビスカス　―小説・霧社事件秘史			東京･東洋書院	1996年	7月	245	
A	196	早乙女勝彦	台湾からの手紙　―霧社事件・サヨンの旅から			東京･草の根出版会	1996年	8月	135	
A	197	井東襄	「巫永福と花岡兄弟」顛末記			高槻･井東襄	1997年	2月	17	
A	198	川村湊	『〈外地〉の日本語文学選』黒川創編	栗原幸夫責任編『文学史を読みかえる1』		東京･インパクト出版会	1997年	3月	296	
A	199	中川浩一､崔智淑､朴桂媛	「補遺」抗日民族運動記念碑探索　―霧社事件・烈女柳寛順・民族英雄安重根をめぐって	『茨城大学教育学部紀要人文・社会科学・芸術』	46	茨城･茨城大学教育学部	1997年	3月	39-55	
A	200	中村ふじゑ	台湾 原住民族 高彩雲さんを偲んで（特集「マイノリティ」・女性・わたし）	『女たちの21世紀』	11	東京･アジア女性資料センター	1997年	6月	83-85	
A	201	尾崎祈美子	悪夢の遺産　―毒ガス戦の果てに　ヒロシマ～台湾～中国			東京･学陽書房	1997年	8月	229	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	202	河原功	日本文学に現れた霧社蜂起事件	河原功『台湾新文学運動の展開　－日本文学との接点』		東京·研文出版	1997年	11月	305	
A	203	ねずまさし	現代史の断面・戦時下の朝鮮・台湾			東京·校倉書房	1997年	11月	88-90	「第三章　戦時下の台湾（1）　／一　解放運動の窒息／ファシズムの波　／付　霧社事件の真相」
A	204	小林岳二	台湾原住民の歴史学的研究について	日本順益台湾原住民研究会編『台湾原住民研究への招待』		東京·風響社	1998年	5月	191-200	「はじめに／霧社事件／高砂義勇隊／近年の研究」
A	205	長沢利明	霧社事件とタイヤル民族	日本順益台湾原住民研究会編『台湾原住民研究への招待』		東京·風響社	1998年	5月	201-204	
A	206	笠原政治、小林岳二、中西裕二編	付録　資料編／一　主要参考文献（六　歴史研究（霧社事件））	日本順益台湾原住民研究会編『台湾原住民研究への招待』		東京·風響社	1998年	5月	231-233	文献紹介
A	207	坂口樗子ほか著／中島利郎編	日本統治期台湾文学日本人作家作品集　第5巻			東京·緑蔭書房	1998年	7月	624	坂口䙥子「時計草」ほかを収録。 中島利郎「坂口䙥子作品解説」「坂口䙥子著作年譜（戦前）」
A	208	宇野浩二ほか著／河原功編	日本統治期台湾文学日本人作家作品集　別巻　内地作家			東京·緑蔭書房	1998年	7月	626	大鹿卓「野蛮人」「欲望」ほかを収録。 河原功「内地作家略年譜・作品解説」
A	209	大江志乃夫	日本植民地探訪（新潮選書）			東京·新潮社	1998年	7月	287-288	「四　台湾、脱植民地五〇周年の立法院選挙　／4　山地先住民「高砂族」の制圧」
A	210	内藤史朗	霧社の光と闇　－台湾の十字架と隠れ念仏			東京·新人物往来	1999年	1月	245	「第一部　ポインセチアの咲く山　－下山一の生い立ち（序章　首を見た朝　－原体験　／第一章　ポインセチアの若木　／第二章　母の刺青　／第三章　郡守を投げる父　／第四章　妹蘭子の恋　／第五章　愛の復讐）　／第二部　北回帰線　－佐塚昌雄の遍歴（第一章　佐塚伍長の復員　／第二章　佐塚愛祐の出奔から戦死まで（一　父愛祐の出奔　明治四十三年　／二　愛祐の政略結婚　明治四十五年から大正七年　／三　霧社事件　昭和五年）　／第三章　二・二八事件　／第四章　ビブアンの戦い　／第五章　下松仙次郎　／第六章　首狩り合戦　／第七章　酔人狂乱　／第八章　北回帰線）　／第三部　十字架と隠れ念仏　－下松安子の再婚（第一章　下松安子との再会　／第二章　シカヤウ社のユーモア　／第三章　マホーニ殺人　／第四章　霧社事件セーダッカの最期（一　花岡一族の心中　／二　洞窟の談判　／三　モーナ・ルダオ一族の最期）　／第五章　日本人捕虜の特務　／第六章　御霊と弥陀の本願　／第七章　安子の手紙と一の墓」
A	211	本方安雄	阿呆たれ人生〈上〉			東京·文芸社	1999年	2月	181-193	「一三、霧社事件（毒ガスの霧れる社でした）」
A	212	向山寛夫	台湾高砂族の抗日蜂起　－霧社事件			東京·中央経済研究所	1999年	3月	228	
A	213	下山操子著／柳本通彦編訳	故国はるか　－台湾霧社に残された日本人			東京·草風館	1999年	8月	283	「一　敗戦　／二　マレッパ　／三　霧社　／四　進学　／五　結婚　／六　生還　／七　終章」、柳本通彦「解説に代えて　－編訳者あとがき」「解説1　霧社事件と日本」「解説2　下山家の人々」
A	214	小林よしのり	台湾論			東京·小学館	2000年	11月	146-148	第八章「台湾の歴史」で、霧社事件、高砂義勇隊に言及。
A	215	沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室編	沖縄県史ビジュアル版6　近代1　沖縄と台湾			那覇·沖縄県教育委員会	2000年	3月	61	文章：又吉盛清、英文・中文併記

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	216	鄧相揚著／下村作次郎監修、魚住悦子訳	抗日霧社事件の歴史　―日本人の大量殺害はなぜ、おこったか			大阪・日本機関紙出版センター	2000年	6月	230	「1章　抗日霧社事件（1抗日六部落 /2抗日霧社事件の原因 /3抗日霧社事件の経過 /4「保護蕃」収容所 /5第二霧社事件 /6抗日霧社事件の結末）　/2章　抗日霧社事件日誌（1碧血英風　―モーナ・ルーダオ略伝 /2抗日霧社事件日誌 /3第二霧社事件日誌）　/3章　霧社史話（史話1～20）　/4章　タイヤル族とその発祥伝説（1タイヤル族の分布と発祥伝説 /2霧社地区のタイヤル族）」、「南投県仁愛号タイヤル族族群分布概況と語系表」、「抗日霧社事件関連重要書目」、下村作次郎「解説　霧社事件七〇周年と台湾九二一大地震」
A	217	鄧相揚著／下村作次郎監修、魚住悦子訳	植民地台湾の原住民と日本人警察官の家族たち			大阪・日本機関紙出版センター	2000年	8月	212	「序章　山霧煙嵐 /本章　日本人警察官の家族たち　―霧社事件後のあるタイヤル家族の物語」、下村作次郎「解説　埔里からのまなざし　―台湾の「山地」と「平地」」、魚住悦子「訳者あとがき」
A	218	藤井省三	佐藤春夫『霧社』解説	河原功監修『日本植民地文学精選集17 台湾編5』		東京・ゆまに書房	2000年	9月	260+6	佐藤春夫『霧社』（昭森社、1936年）を収録
A	219	河原功	大鹿卓『野蛮人』解説	河原功監修『日本植民地文学精選集18 台湾編6』		東京・ゆまに書房	2000年	9月	311+6	大鹿卓『野蛮人』（巣林書房、1936年）を収録
A	220	岡林稔	中村地平『台湾小説集』解説	河原功監修『日本植民地文学精選集20 台湾編8』		東京・ゆまに書房	2000年	9月	273+6	中村地平『台湾小説集』（墨水書房、1941年）を収録
A	221	中村ふじゑ	オビンの伝言　―タイヤルの森をゆるがせた台湾・霧社事件			東京・梨の木舎	2000年	10月	245	「Ⅰ　一九三〇年霧社事件。オビン・タダオ17歳　／Ⅱ　強制移住。初子として生きた日本時代　／Ⅲ　敗戦。語り部・高彩雲」
A	222	児野道子	Book Review 『抗日霧社事件の歴史』鄧相揚著/下村作次郎・魚住悦子訳　―霧社事件の原因の究明 霧社事件評価の時期を迎えて	『東方』	236	東京・東方書店	2000年	10月	24-26	
A	223	木村元彦	1930年の対日蜂起　―霧社事件の末裔と台湾大震災	『週刊金曜日』	341	東京・金曜日	2000年	10月6日	72-74	
A	224	許盧千恵	霧社事件70周年に際して	『台湾青年』	481	東京・台湾独立建国聯盟日本本部	2000年	11月		
A	225	中島利郎、吉原丈司編	鷲巣敦哉著作集　第三巻			東京・緑蔭書房	2000年	12月	472	鷲巣敦哉『台湾警察四十年史話』（1938年）を収録（「噍霧社蕃蜂起事件」）。全五巻＋別巻。
A	226	王暁芸	坂口襧子の「時計草」を中心に　―異民族統治への協力	『天理臺灣學會年報』	10	奈良・天理台湾学会	2001年	3月	121-130	
A	227	辛島理人	霧社事件	東アジア文史哲ネットワーク編『〈小林よしのり『台湾論』〉を越えて　―台湾への新しい視座』		東京・作品社	2001年	4月	54-55	
A	228	小林岳二	台湾先住民の描かれ方について	東アジア文史哲ネットワーク編『〈小林よしのり『台湾論』〉を越えて　―台湾への新しい視座』		東京・作品社	2001年	4月	56-65	
A	229	星名宏修	「血液」の政治学　―台湾「皇民化期文学」を読む	『日本東洋文化論集』	7	沖縄・琉球大学法文学部	2001年	10月	5-54	「1　優生学という視角　―「破壊」を読む　／2　「民族政策」としての「雑婚」　―「時計草」を読む　／3　「血液」の政治学」
A	230	平岡正明	植民地医学から見た台湾少数民族問題という問題	平岡正明『キネマ三国志』		東京・アートン	2001年	4月	82-92	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	231	アジア旅行研究会	「台湾」旅行写真館　―ぶらり横断・縦断気まま旅　抗日霧社事件70周年紀念文化祭細部・詳細版			大阪・日本機関紙出版センター	2001年	5月	214	
A	232	竹中信子	植民地台湾の日本女性生活史　3（昭和篇上）			東京・田畑書店	2001年	10月	154-204	「第5章　霧社事件の中の女たち」
A	233	森口豁	沖縄　孤島の新地図　番外編　植民地下の台湾　加害の歴史を歩く	『週刊金曜日』	389	東京・金曜日	2001年	10月5日	46-50	又吉盛清氏の活動
A	234	河合正廣	防衛庁からの戦史　―霧社事件	『Securitarian = セキュリタリアン』	515	東京・防衛弘済会	2001年	10月	56-57	
A	235	鄧相揚著／下村作次郎監修、魚住悦子訳	抗日霧社事件をめぐる人々　―翻弄された台湾原住民の戦前・戦後			大阪・日本機関紙出版センター	2001年	11月	310	「第1部　日本人（嗚咽する濁水渓 /霧のなかの花岡コンプレックス　ほか） /第2部　霧社の怒り（日本人に似たセイダッカ人 /横暴な日本人警察官　ほか） /第3部　最後の酒盛り（日本軍警部隊の大討伐 /命を救われた中山清　ほか） /第4部　皇民化運動（川中島移住 /生命の再生　ほか） /第5部　風の中の緋桜（「我々はみな中国人だ」 /霧社の光と影　ほか）」、下村作次郎「解説　誇り高きセイダッカとタナトゥヌ」、魚住悦子「訳者あとがき」
A	236	石渡延男、越田稜編著	世界の歴史教科書　―11カ国の比較研究			東京・明石書店	2002年	2月	306	石渡延男・越田稜「日本　学ぶ側からの視点／朝鮮、台湾についての書き方」
A	237	野口真広	日本統治期台湾先住民社会の変化　―霧社地域を事例に	『日本台湾学会報』	4	東京・日本台湾学会	2002年	7月	100-124	
A	238	秦郁彦、佐瀬昌盛、常石敬一監修	世界戦争犯罪事典			東京・文藝春秋	2002年	8月	749	「霧社事件と毒ガス作戦」（春山明哲）
A	239	早乙女勝元	霧社事件の現場を探る　―モーナ・ルダオ（台湾）	早乙女勝元『語りつぐ戦争―15人の伝言』		東京・河出書房新社	2002年	8月	107-120	日本生活教育連盟『生活教育』連載記事（2001-02年）を加筆修正。
A	240	柳本通彦	アジアから　―ジャーナリストの眼　漂流する島の人びと　台湾（上）	『望星』	33:10	東京・東海教育研究所	2002年	10月	101-109	「1930年の抗日蜂起「霧社事件」／日本兵として出征した台湾老人の声」など
A	241	岡田昭三	木戸日記私註　―昭和のはじまり再探検			東京・思想の科学社	2002年	11月	430	「宮中の新年　霧社事件と牧野伸顕」
A	242	与那原恵	美麗島まで			東京・文藝春秋	2002年	11月	110-112	
A	243	林えいだい	台湾秘話　霧社の叛乱・民衆側の証言			東京・新評論	2002年	12月	361	林えいだい「まえがき　―霧社事件・検証の旅　／第１章　霧社事件（一　政略結婚（林光明）　／二　理蕃政策の犠牲（江頭敏子）　／三　リットクタウレの負傷（高阿琴））　／第２章　悲劇の女（一　花岡二郎の妻（高彩雲）　／二　悪夢（高彩鳳））　／第３章　毒ガスの恐怖（一　神への背信（傅阿有）　／二　毒ガスの謎（陳春麟）　／第４章　川中島（一　運命の子（高光華）　／二　モーナルダオとの約束（曽瑞琳）　／三　逃走（永松吉次郎））　／第５章　皇軍兵士（一　戦争に行きたい（蔡建昌）　／二　腕の入墨（高成佳）　／軍国の母（施文佐））　／第６章　遺骨は証言する（一　警察の拷問（高貞昌）　／二　二十年後の遺骨（葉綉清））　／あとがき」
A	244	星名宏修	植民地の「混血児」　―「内台結婚」の政治学	藤井省三・黄英哲・垂水千恵編『台湾の「大東亜戦争」―文学・メディア・文化』		東京・東京大学出版会	2002年	12月	267-294	「4　「民族政策」としての「雑婚」　―坂口□子「時計草」を読む」
A	245	青木説三	遥かなるとき台湾　―先住民社会に生きたある日本人警察官の記録			大阪・関西図書出版	2002年	12月	47-53	「霧社事件のこと」

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	246	下村作次郎	単行本『抗日霧社事件をめぐる人々』のテレビドラマ化に期待する	『宣伝研究』	447	大阪・日本機関紙出版センター	2002年	8月	14-16	
A	247	松田修	霧社事件、暁の虐殺　―花岡義兄弟の生と死	松田修『松田修著作集　第7巻』		東京・右文書院	2003年	2月	507-517	
A	248	河崎眞澄	還ってきた台湾人日本兵			東京・文藝春秋	2003年	3月	214	「第７章　霧社事件とその後の人々」
A	249	エリック・クロディー著／常石敬一、杉島正秋訳	生物化学兵器の真実			東京・シュプリンガーフェアラーク東京	2003年	4月	156-157	「霧社事件　アジアにおける最初の化学兵器使用？」
A	250	坂口襾子	蕃地	尾形明子、長谷川啓監修『戦後の出発と女性文学』第8巻		東京・ゆまに書房	2003年	5月	395	
A	251	小宮強介	台南体当り四十三ヶ月　―心温かき歴史の街と人々と			東京・文芸社	2003年	9月	353-357	「霧社事件の反省」
A	252	ワリス・ノカン著／中村ふじゑほか訳	台湾原住民文学選3　永遠の山地			東京・草風館	2003年	11月	326	「霧社」ほか
A	253	小林岳二	解説　ワリス・ノカンが綴る近現代史	ワリス・ノカン著／中村ふじゑほか訳『台湾原住民文学選　永遠の山地』		東京・草風館	2003年	11月	305-325	
A	254	朱衛紅	佐藤春夫「霧社」論　―台湾先住民女性像に見る「社会的小説」の要素	筑波大学文化批評研究会編『〈翻訳〉の圏域　―文化・植民地・アイデンティティ』		つくば・イセブ	2004年	2月	79-100	
A	255	野中十四秋	波路を見つめて　―大正・昭和・平成を駆け抜けて			東京・文芸社	2004年	3月	19-	「先住民の家族と私」「東埔を出て蘆山温泉へ」
A	256	秋吉收	植民地台湾を描く視点　―佐藤春夫『霧社』と頼和「南国哀歌」	『佐賀大学文化教育学部研究論文集』	8:2	佐賀・佐賀大学文化教育学部	2004年	3月	77-94	
A	257	松本逸也	「脱亜」の群像　―大日本帝国漂流			東京・人間と歴史社	2004年	6月	267	「霧社事件　―なぜタイヤル族は蜂起したのか、侵略に隠された大罪」
A	258	吉見義明	毒ガス戦と日本軍			東京・岩波書店	2004年	7月	27-31	「Ⅰ　第一次世界大戦の衝撃　一九一五－一九三〇（1毒ガス開発の開始　/2毒ガス使用禁止国際条約への対応　/3毒ガス開発の再開　/4霧社事件」
A	259	藤野陽平	日本統治下台湾における対日感情　―漢族と原住民の比較から	『民俗文化研究』	5	神奈川・民俗文化研究所	2004年	7月	52-77	
A	260	李文茹	坂口襾子の移民小説と戦争協力	『天理臺灣學會年報』	13	奈良・天理台湾学会	2004年	6月	29-42	
A	261	松野誠也	日本軍の毒ガス兵器			東京・凱風社	2005年	2月	135-138	「第4章　毒ガス使用禁止をめぐる国際的な動向と日本軍の対応　／1毒ガス使用禁止を定めた国際法　／2　日本陸軍初の毒ガス戦台湾霧社事件　／3「満州事変」とジュネーブ一般軍縮会議での日本の態度　／4　欧米列強の毒ガス戦備」
A	262	高金素梅／本田善彦	原住民立法議員に聞く　台湾先住民は何を望んでいるか	『世界 』		東京・岩波書店	2005年	2月	250-257	「霧社事件74周年／歴史の真相を知ってほしい／民進党も原住民を軽視している／「台湾」と原住民」
A	263	レオ・チン／長谷川健治訳	思考不可能性としての霧社事件　―植民地性、原住民性と植民地的差異の認識	呉密察ほか編『記憶する台湾　帝国との相克』		東京・東京大学出版会	2005年	5月	103-129	
A	264	垂水千恵	台湾原住民文学における「霧社」の記憶をめぐって　―不可能性からの対話	呉密察ほか編『記憶する台湾　帝国との相克』		東京・東京大学出版会	2005年	5月	131-145	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	265	杉本朋美	霧社の花嫁　―戦後も台湾に留まって			東京・草風館	2005年	7月	244	「第一章　霧社との出会い　／第二章　マレッパの里　／第三章　戦後の霧社　／第四章　異国人家族　／第五章　春秋長ずころ　／付章」
A	266	駒込武	台湾史をめぐる旅(4)　霧社事件の記憶	『前夜．第1期』	4	東京・影書房	2005年	7月	236-243	
A	267	宋秀環	霧社事件以後　―従対事件的認識與認同談起	『南島史学』	65・66	東京・南島史学会	2005年	8月	176-164	
A	268	麻生晴一郎	読書　杉本朋美『霧社の花嫁　戦後も台湾に留まって』草風館　―台湾に生きた日本女性の“戦後”を日常から紡ぐ	『週刊金曜日』		東京・金曜日	2005年	11月25日	45	
A	269	門脇朝秀	祖国はるか⑬　高金素梅と日本　―大陸よりの使者(台湾立法委員)：高金素梅滞日奇聞			千葉・あけぼの会／門脇朝秀	2005年	12月	197-217	「第七編　原住民の部落に咲いたこぼれ花　／（一）サヨンの鐘　／（二）くちなしの花　／（三）タイヤル族マデさん　／（四）霧社事件・心の後始末」
A	270	石丸雅邦	戦後における日本統治時代の「理蕃政策」関連文献をふりかえって	台湾原住民研究シンポジウム実行委員会編『台湾原住民研究　―日本と台湾における回顧と展望』		東京・風響社	2006年	1月	165-197	
A	271	傅琪貽	台湾原住民族における植民地化と脱植民地化	杉原達ほか編『岩波講座アジア・太平洋戦争　第四巻　帝国の戦争経験』		東京・岩波書店	2006年	2月	267-291	
A	272	李文茹	ジェンダーから見た台湾「原住民」の記憶と表象　―霧社事件を中心に	『社会文学』	23	日本社会文学会	2006年	2月	99-111	
A	273	島崎義行	さらば霧社会①	『台湾協会報』	617	東京・財団法人台湾協会	2006年	2月		
A	274	宮川康子	台湾の旅　―霧社を訪ねて	『あふひ　京都産業大学日本文化研究所報』	11	京都・京都産業大学日本文化研究所	2006年	3月	24-36	
A	275	島崎義行	さらば霧社会②	『台湾協会報』	618	東京・財団法人台湾協会	2006年	3月		
A	276	島崎義行	さらば霧社会③（完）	『台湾協会報』	619	東京・財団法人台湾協会	2006年	4月		
A	277	中島光孝	還我祖霊　―台湾原住民族と靖国神社			東京・白澤社	2006年	9月	252	「第4章 霧社抗日事件と「高砂義勇隊」」
A	278	磯村美保子	佐藤春夫「魔鳥」と台湾原住民　―再周辺化されるものたち	『金城学院大学論集，人文科学編』	3:1	名古屋・金城学院大学	2006年	9月	55-66	
A	279	津島祐子	あまりに野蛮な	『群像』	61:9	東京・講談社	2006年	9月		『群像』第61巻第9号～第63巻第5号（2006年9月～2008年5月）連載
A	280	河野英通	教科書に書けない戦前、戦中、戦後　―日本現代史を考える四十話			東京・東京図書出版会、東京・リフレ出版（発売）	2006年	10月	29-30	「霧社事件」
A	281	浦忠成	原住民文学の発展過程におけるいくたびかの転換	下村作次郎編著『台湾原住民文学選　第8巻 原住民文化・文学言説集 1』		東京・草風館	2006年	11月	352	
A	282	喜多義人	霧社事件と日本赤十字	河合利修編『赤十字史料による人道活動の展開に関する研究報告書』		名古屋・日本赤十字豊田看護大学	2007年	3月	47-54	
A	283	盧千恵	私のなかのよき日本　―台湾駐日代表夫人の回想五十年			東京・草思社	2007年	4月	204	第6章「白金の森に暮らして」で、「サヨンの鐘」、霧社事件、玉山神学院等に言及

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	284	朝倉喬司	時代の寵児たちの熱く、湿しき魂は今も ー栄光なきカリスマ　第38回　「霧社事件」　モーナ・ルダオ　日本植民地時代の台湾の先住民“タイヤル族”の大酋長	『実話GON!ナックルズ』		東京·ミリオン出版	2007年	6月	154	
A	285	坂野徹	蜂起の痕跡　ー霧社事件と台湾における民族心理学研究をめぐって	黒川みどり編著『〈眼差される者〉の近代　ー部落民・都市下層・ハンセン病・エスニシティ』		大坂·部落解放·人権研究所	2007年	10月	287	
A	286	久保井規夫	絵で読む紫煙・毒煙「大東亜」幻影　ー日本の戦争と煙草・阿片・毒煙			東京·柘植書房新社	2007年	11月	99	「台湾霧社事件に毒ガスの影」
A	287	津島佑子	あまりに野蛮な　上・下			東京·講談社	2008年	11月	357+353	『群像』第61巻第9号～第63巻第5号（2006年9月～2008年5月）連載
A	288	重田敞弘(写真·文)	旅でみつめた戦争と平和　改訂新版			東京·草の根出版会	2008年	1月	143	「抗日蜂起の霧社事件(台湾)」
A	289	若杉大	霧社事件に秘められた悲劇	西村幸祐編『拉致と侵略の真実　完全保存版　ー教科書が教えない日本被害史』		東京·オークラ出版	2008年	2月	150-151	（OAK MOOK 199 撃論ムック）
A	290	春山明哲	近代日本と台湾　ー霧社事件・植民地統治政策の研究			東京·藤原書店	2008年	6月	19-152, 380-391	「Ⅰ　霧社事件と日本人（昭和政治史における霧社事件　ー植民地統治の政治過程分析　／日本陸軍にとっての霧社事件　ー〈解説〉台湾霧社事件軍事関係資料』　／ウットフが織り給ひし人々　ー〈解説〉林えいだい『台湾植民地統治史』　／台湾原住民タイヤル族一女性の命の記録　ー〈書評〉中村ふじゑ『オビンの伝言』　／語り継ぐセーダッカの叙事詩　ー〈書評〉アウイヘッパハ『証言霧社事件』　／虹の橋」を渡るキリスト者　ー井上伊之助の「山地原住民伝道」覚書）」Ⅲ　日本における台湾史研究の回顧と展望（台湾近現代史研究会の思い出　／「後藤新平伝」編纂事業と〈後藤新平アーカイブ〉の成立　／霧社紀行　ー研究余聞」
A	291	武藤直大	新聞記事に見る激動近代史			東京·グラフ社	2008年	6月	287-288	「台湾で霧社の原住民が暴動、周辺の警察全滅　〔十月二十九日大阪毎日新聞〕」「拓相、霧社反乱の原因を閣議報告　首謀者花岡を示唆したマヘボ社頭目〔十一月五日大阪毎日新聞〕」
A	292	松永正義	台湾を考えるむずかしさ			東京·研文出版	2008年	7月	286-316	「日本国内ジャーナリズムにおける霧社蜂起事件」、戴国煇編『台湾霧社蜂起事件』所載論文の再録。
A	293	久田恵	死者を背負って生きる女性の痛み　〔書評　津島祐子『あまりにも野蛮な』〕	『朝日新聞』		東京·朝日新聞社	2009年	1月4日		
A	294	松山巖	異郷でたどる女の悲劇　〔書評　津島祐子『あまりにも野蛮な』〕	『読売新聞』		東京·読売新聞社	2009年	1月25日		
A	295	小松裕	日本の歴史14　「いのち」と帝国日本			東京·小学館	2009年	1月	236-237, 329-352	「第三章　「いのち」とアジア（霧社に立つ／韓国併合　ー植民地帝国へ／日本人とアジア／第一次世界大戦とシベリア干渉戦争／三・一独立運動と五・四運動　ー帝国日本への抵抗／関東大震災／山東出兵／抗日霧社蜂起　ーいのちの叫び」
A	296	谷ヶ城秀吉	書評　春山明哲著『近代日本と台湾　ー霧社事件・植民地統治政策の研究』	『日本植民地研究』	21	東京·日本植民地研究会	2009年	6月	74-78	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
A	297	阿部洋、上沼八郎	解題　第三集「教育施策関係資料」について	阿部洋編『日本植民地教育政策史料集成　台湾篇 第3集　教育施策関係資料』第17巻		東京·龍渓書舎	2009年	7月	9-111	第22巻に台湾総督府「霧社事件ノ顛末」を収録。当該資料の解題は、上沼八郎が分担執筆。
A	298	喜多義人	昭和初期の事変と日本赤十字社	黒沢文貴・河合利修編『日本赤十字社と人道援助』		東京·東京大学出版会	2009年	11月	276-279	「一　日露戦争後における戦時救護体制の変遷　／二　済南事変における救護事業　／三　霧社事件における救護事業　／四　満州事変・上海事変における救護事業」
Ⅰ－ⅱ		**文献目録**								
B	1		霧社事件関係文献目録	『暖流』	6	東京·東京大学中国同学会	1964年	11月	49-50	
B	2	台湾近現代史研究会	戦後日本における台湾近現代史研究文献目録	『台湾近現代史研究』	3	東京·緑蔭書房	1981年	1月	152-204	
B	3	河原功編	霧社蜂起事件関係文献目録	戴国煇編『台湾霧社蜂起事件　―研究と資料』		東京·社会思想社	1981年	6月	581-598	
B	4	台湾近現代史研究会	戦後日本における台湾近現代史研究文献目録（Ⅱ）	『台湾近現代史研究』	6	東京·緑蔭書房	1988年	10月	235-270	
B	5	近藤正己編	『理蕃の友』総目次・索引	『台湾総督府警務局理蕃課編『理蕃の友』別冊　解題・総目次・索引』		東京·緑蔭書房	1993年	10月	8+74	
B	6	中島利郎編	『台湾時報』総目録			東京·緑蔭書房	1997年	2月	594	
B	7	笠原政治編	日本の台湾原住民研究文献目録　1945-1996			東京·風響社	1997年	3月	103	
B	8	中島利郎、林原文子編	『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録			東京·緑蔭書房	1998年	8月	758	
B	9	中島利郎、宋宜靜編	『台法月報』総目録			東京·緑蔭書房	1999年	9月	626	
B	10	中島利郎、河原功、下村作次郎、黄英哲編	日本統治期台湾文学研究文献目録			東京·緑蔭書房	2000年	3月	546	下村作次郎「戦後台湾における台湾文学研究関連資料目録」
B	11	中島利郎編	『台湾民報・台湾新民報』総合目録　付台湾青年・台湾　1・2			東京·緑蔭書房	2000年	12月	563+243	
B	12	笠原政治編	台湾原住民関係文献目録　(1)	『台湾原住民研究』	5	東京·風響社	2001年	3月	177-200	
B	13	河合利修編	日本赤十字社文書リスト	河合利修編『赤十字史料による人道活動の展開に関する研究報告書』		名古屋·日本赤十字豊田看護大学	2007年	3月	101-161	「1.博物館明治村所蔵　日本赤十字豊田看護大学保管　日本赤十字社文書リスト　／2.日本赤十字社本社所蔵　日本赤十字社文書リスト」
Ⅱ.台湾で発行された文献										
Ⅱ－ⅰ		**書籍、雑誌論文・記事、資料の翻刻・翻訳等**								
C	1	呉新栄	霧社山草歌	『台湾文化』	1:3		1946年	12月		
C	2	薛天助	抗日運動	台湾新生報社叢書編纂委員会編『台湾年鑑』		台北·台湾新生報社	1947年	6月	10-11	「抗日運動」の中に「霧社事件」
C	3	山風	霧社事件紀実	『台旅月刊』	1:3	台北·台湾旅行社	1949年	4月		
C	4	潘培藩	春遊霧社	『台旅月刊』	1:3	台北·台湾旅行社	1949年	4月		
C	5	蒋先烈遺集刊行委員会編	台湾民衆党向国際連盟　―抗義日本使用毒瓦斯毒殺台湾霧社同胞案	蒋先烈遺集刊行委員会編『蒋渭水遺集』		台北·文化出版社	1950年	8月	100	
C	6	張深切	霧社桜花遍地紅	『旁観』	7	台北·旁観雑誌社	1951年	7月		第7期-第11期（4-7月）連載、映画シナリオ
C	7	劉枝万	台湾日月潭史話			埔里·劉枝万	1951年	8月	64-87	「霧社事件」

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	8		霧社血史震中外	『新南投』	1:4	南投·新南投出版社	1952年	2月	8-9	
C	9	陳定山	霧社桜花	『自由談』	3:7-12	台北·自由談雑誌社	1952年	7月		第3巻第7期-第12期（1952年7月-12月）
C	10	楊雲萍	可歌可泣的霧社事件	『中国一周』	183	台北·中国一周社	1953年	10月	10-11	
C	11	黄旺成	霧社事件	台湾省文献委員会編『台湾省通志稿　巻九　革命志抗日篇』		台北·台湾省文献委員会	1954年	12月	116-119	
C	12	王一剛	山地英雄莫那道	『学友』	3:4	台北·学友月刊社	1955年	3月		王詩琅
C	13	王世慶(訳)	日本国会紀録中的霧社事変	『台湾文献』	6:3	南投·台湾省文献委員会	1955年	9月		第59回帝国議会議事録中の、霧社蜂起事件にかかわる部分の中文訳。
C	14	温吉編訳	霧社事件与新理蕃政策	温吉編訳『台湾蕃政志』		台北·台湾省文献委員会	1957年	12月	868-878	
C	15	何基明	我与「霧社事件」	映画「青山碧血」のパンフレット		台湾·華興電影製片股份有限公司	1957年			
C	16	敏	霧社事件余聞	映画「青山碧血」のパンフレット		台湾·華興電影製片股份有限公司	1957年			
C	17	路易	「青山碧血」中的英雄美人　－洪洋与何玉華	映画「青山碧血」のパンフレット		台湾·華興電影製片股份有限公司	1957年			
C	18	呉史民	霧社出草歌	『南瀛文献』	4:下	台南·台南県政府民政局	1958年	6月		呉史民は、呉新栄の筆名。『台湾文化』第1巻第3期に発表したものの再録。
C	19	連温卿	日人土地収奪所演出的両事件	『南瀛文献』	4:下	台南·台南県政府民政局	1958年	6月		
C	20	鄭清江	弔霧社抗日山砲	『台湾文献』	9:4	南投·台湾省文献委員会	1958年	12月		頼子清「台湾詠史詩」中にあり。
C	21	劉枝万	霧社事件	『南投県革命志稿』		南投·南投県文献委員会	1959年	6月	290-352	前掲『台湾日月潭史話』中の「霧社事件」を改訂増補したもの〈南投文献叢輯七〉
C	22	張深切	遍地紅			台中·中央書局	1961年	8月	1-121	「霧社桜花遍地紅」
C	23	朱伝誉編	台湾画史			台北·台湾画史編纂委員会	1962年	10月	33135	「碧血英風」
C	24	陳逢源	登霧社眺望台	『渓山煙雨楼詩存』		台北·陳逢源	1962年			『台湾先賢詩文集彙刊』に再録。
C	25	王詩琅	霧社事件	台湾省文献委員会編『台湾史話』		台北·台湾省文献委員会	1964年	6月	290-293	
C	26	朱伝誉編	中国国民党与台湾			台北·中国国民党中央委員会党史史料編纂委員	1964年	11月	15-19	「日本帝国主義鉄蹄下的台湾」中の「監禁和屠殺」
C	27	洪敏麟(訳)	関於霧社事件概況説明書	『台湾文献』	16:4	南投·台湾省文献委員会	1965年	12月	156-162	稿本『霧社事件ニ関スル概況説明書』（台中州能高郡警察課）の中文訳
C	28	范栄堂	霧社山胞抗日運動的真像　1	『中国一周』	817	台北·中国一周社	1965年	12月	21-22	
C	29	范栄堂	霧社山胞対日抗暴運動史実　2	『中国一周』	818	台北·中国一周社	1965年	12月	22-23	
C	30	范栄堂	霧社山胞対日抗暴運動史実　3	『中国一周』	819	台北·中国一周社	1966年	1月	26-28	
C	31	馮作民	台湾歴史百講			台北·青文出版社	1966年	2月	293-298	「屠殺山胞的霧社事件」
C	32	海嵩	霧社山胞抗日瑣談	『民間知識』	342	台北·民間知識社	1966年	10月	20	
C	33	台湾経世新報社編	台湾大年表			台北·古亭書屋	1969年	7月	207	台湾経世新報社編『台湾大年表』(1932年)の復刻版
C	34	鈴木作太郎	台湾の蕃族研究			台北·古亭書屋	1970年		543	鈴木作太郎『台湾の蕃族研究』（台湾史籍刊行会､1932年）の復刻版
C	35	呉濁流	無花果			台北·林白出版社	1970年	10月	75-76	
C	36	譚慧生編	台湾史的通俗演義			高雄·百成書店	1971年	3月	289-175	「言而無信江定枉死　霧社風雲山胞抗日」

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	37	李如和	莫那道、花岡一郎	台湾省文献委員会編『台湾省通志　巻7　人物志　抗日先賢篇』		台北·台湾省文献委員会	1971年	6月	253オ-253ウ	
C	38	李如和	霧社事件	台湾省文献委員会編『台湾省通志　巻9　革命志　抗日篇』		台北·台湾省文献委員会	1971年	6月	53オ-54オ	
C	39	葉栄鐘等	台湾民族運動史			台北·自立晩報叢書編輯委員会	1971年	9月	430-431	「台湾民衆党」中の「対霧社事件的表示」
C	40	加覧尚芳	山地紀行（一）	『さんご』	66	台北·台湾省日僑協会	1972年	4月		著者は、1971年4月から3ヶ年間台北日本人学校の校長として勤務。
C	41	梁舒里	台湾抗日革命史略			台中·梁舒里	1972年	12月	50-68	「霧社山砲起義抗日事件」
C	42	鍾肇政	馬黒坡風雲			台北·台湾商務印書館	1973年	9月		『台湾新生報』副刊連載（1971年10月26日～1972年1月11日）、のちに、『鐘肇政全集7』（2000年）に再録。
C	43	台湾風物社編	霧社事件的新問題	『台湾風物』	23:3	台北·台湾風物雑誌社	1973年	9月	33-62	
C	44	鄭仰貴	霧社山胞抗日英雄故事	台湾省立台南社会教育館編『抗日英勇事績』		台南·台湾省立台南社会教育館	1973年	9月	63-67	
C	45	台後学	花岡一郎、二郎之忠奸問題	『中華雑誌』	11:10	台北·中華雑誌社	1973年	10月		
C	46	台湾省文献委員会編	抗日烈士　莫那道伝略			台中·台湾省文献委員会	1973年	10月		パンフレット
C	47	霧社抗日事件烈士遺族一同	霧社事件抗日生存者暨遺族陳情書			南投·霧社抗日事件烈士遺族一同	1973年	10月		
C	48	王詩琅	也談霧社事件的文学	『台湾文芸』	11:43	台北·台湾文芸雑誌社	1974年	4月	62-64	
C	49	陳徳清	霧社事件始末	『国教補導』	13:7	台中·国立台中師範学院	1974年	5月	16-17	
C	50	王志恆	霧社事件面面観	『中外雑誌』	15:6	台北·中外雑誌社	1974年	6月	13-17	
C	51	余光中	白玉苦瓜　第三版			台北·大地	1974年		168	「霧社」「碧湖」
C	52	台湾省文献委員会編	台湾歴史図画　第三冊　日拠時期			台中·台湾省文献委員会	1975年	3月	100-101	「山胞堅強不屈　日人施放毒瓦斯」
C	53	王孝廉	血桜　―関於霧社事件（上）	『夏潮』	1:7	台北·夏潮雑誌社	1976年	10月	13-17	
C	54	王孝廉	以血写在山岡的名字　―関於霧社事件（下）	『夏潮』	1:8	台北·夏潮雑誌社	1976年	11月	8-12	
C	55	台湾史蹟研究会編	台湾叢談			台北·幼獅文化事業公司	1977年	3月	497-501	「霧社事件」
C	56	陳梁川	霧社事件			台北·地球出版社有限公司	1977年	7月	220	
C	57	劉万来	新台湾簡史			台中·文林出版社	1977年	8月	169-171	「碧血黄花　－霧社事件」
C	58	李永熾	不屈的山岳　―霧社事件			台北·近代中国出版社	1977年	10月	132	先烈先賢傳記叢刊
C	59	王詩琅	日本殖民地体制下的台湾			台北·台湾風物雑誌社	1978年	1月	149-151	「霧社事件」。台湾省文献委員会編『台湾史話』（改訂版、台湾省文献委員会、1974年）所載文の再録。
C	60	林興華	霧社	『明道文芸』	27		1978年	6月		
C	61	楊亭	登臨霧社	『中華文芸』	15:4		1978年	6月		
C	62	黄煌雄	非暴力的闘争			台北·長橋出版社	1978年	9月	154-156	「霧社事件」
C	63	王孝廉	用血写在山向上的名字　―関於霧社事件	王拓『党外的声音』		台北·王拓	1978年	9月	295-320	
C	64	崔雲斌	唐山過台湾〈根〉			台北·黄河出版社	1979年	3月	174-179	「霧社事件」

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	65	鍾延豪	霧社今昔	『台湾文芸』	66	台北·台湾文芸雑誌社	1980年	3月		
C	66	黄炫星	従川中島到清流的艱辛歴程　—順訪霧社事件遺老	『埔里鄉情雑誌』	13	南投·埔里鄉情雑誌社	1982年	5月	16-24	
C	67	苑林苑	霧社抗暴的真象	『高雄漁訊月刊』	3:3	高雄·高雄区魚会	1982年	11月	60-65	
C	68	喜安幸夫	日本統治台湾秘史　—霧社事件至抗日全貌			台北·武陵	1984年		243	
C	69	藤井志津枝	一九三〇年霧社事件之探討	『台湾風物』	34:2	台北·台湾風物雑誌社	1984年	6月	61-83	
C	70	鍾肇政	川中島　〈高山組曲 第一部〉			台北·蘭亭出版社	1985年	4月	260	『中華日報』副刊連載（1982年12月〜1983年4月）、のちに、『鐘肇政全集9』（2000年）に再録。
C	71	鍾肇政	戦火　〈高山組曲 第二部〉			台北·蘭亭出版社	1985年	4月	294	『中華日報』副刊連載（1982年12月〜1983年4月）、のちに、『鐘肇政全集9』（2000年）に再録。
C	72	周錫侯	抗日英雄　—莫那魯道	『史聯雑誌』	8	台北·中華民国台湾史蹟研究中心	1985年	6月	30-32	
C	73	林徳政	霧社抗日精神延続　—評介鍾肇政著「川中島」	『文訊』	19	台北·文訊雑誌社	1985年	8月	92-97	
C	74	瓦歴斯·尤幹	霧社青年	『聯合文学』	19:5		1986年	5月		のちに、『想念族人』（1994年）に再録。
C	75	陳金田	霧社拾零	『台湾風物』	36:2	台北·台湾風物雑誌社	1986年	6月	22	
C	76	戴國煇著／楊鏡汀訳	霧社事件与毒瓦斯	『史聯雑誌』	8	台北·中華民国台湾史蹟研究中心	1986年	6月	105-110	
C	77	鈴木作太郎	台湾の蕃族研究			台北·南天書局	1988年	6月	543	鈴木作太郎『台湾の蕃族研究』（台湾史籍刊行会、1932年）の復刻版
C	78	藤崎済之助	台湾の蕃族			台北·南天書局	1988年	6月	940	藤崎済之助『台湾の蕃族』（国史刊行会、1936年、三訂版）の復刻版
C	79	瓦歴斯·尤幹	「霧社事件」将成絶響？	『獵人文化』	4	台中·獵人文化	1990年	10月	5-9	「霧社抗暴事件六十周年紀念専号」
C	80	鄧相揚主編	碧血英風　霧社抗日事件六十週年紀念			南投·南投県政府、仁愛鄉公所	1990年	10月	112	
C	81	邱若龍編画	霧社事件			台北·時報文化出版企業公司	1990年	10月	262	
C	82	巫永福	霧社緋桜　永州詩集			台中·笠詩刊社	1990年		119	
C	83	黄煌雄	台湾抗日史話			台北·前衛	1992年	12月	230	
C	84	呉俊傑(瓦歴斯·諾幹)	番刀出鞘			台北·稲鄉出版社	1992年	12月	240	「番刀出鞘」「霧社事件将成絶響？　—台湾泛原住民運動思考」を所収。
C	85	中川浩一、和歌森民雄編	霧社事件　—台湾原住民的蜂擁群起			台北·武陵	1992年		218	
C	86	鄧相揚	莫那魯道（1882-1930）　—寡撃衆・義勇士	台美文化交流基金会・創意力文化事業有限公司『島国顕影1』		台北·創意力文化事業有限公司	1993年	6月	43-94	
C	87	垂水千恵	坂口樗子・その人と作品　—日本統治期の台湾に於ける日本語文学事情	『日中言語文化比較研究』	2	台中·日中言語文化比較研究会	1993年	10月	94-106	「付録・資料　坂口㚢子年譜」
C	88	台湾経世新報社編	台湾大年表			台北·南天書局	1994年	9月	279	台湾経世新報社編『台湾大年表』(1938年、第4版)の復刻版
C	89	台湾総督府編	台湾日誌			台北·南天書局	1994年	9月	381	河原功監修／台湾総督府編『台湾日誌』（1992年）の復刻版
C	90	柳本通彦	無法終止的霧社之旅　—川中島之六十三年与日本	『山海文化雑誌』	2	台北·山海文化雑誌社	1994年	1月		
C	91	瓦歴斯·尤幹	想念族人			台北·晨星出版社	1994年		241	「霧社青年」「関於1930年・霧社」「庚午霧社行」「彎刀」「観光事業」(「台湾原住民系列16」)を所収。
C	92	近藤正巳著／張旭宜訳	台湾総督府的「理蕃」体制和霧社事件	『台北文献』	111	台北·台北市文献委員会	1995年	3月	163-184	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	93	布興·大立(高萬金)	寧死不屈的原住民　—霧社事件的故事神学			嘉義·信福出版、発行：台南·台湾神学研究院	1995年	4月	116	台湾神学文化論叢
C	94	柳本通彦著／張桂娥訳	霧社事件　—両座慰霊碑的故事	『山海文化雑誌』	10	台北·山海文化雑誌社	1995年	5月	92-107	
C	95	鄧相揚、黄炫星	合歓礼讃			南投·南投県風景管理所、仁愛郷公所	1995年	10月	132	
C	96	楊樹煌	見証霧社抗日事件　—但求斧斤塑我心	南投県風景区管理所『一九九五合歓之月』		南投·南投県風景区管理所	1995年			
C	97	中央図書館台湾分館拓製	霧社起義戦没者紀念碑記			台北·中央図書館台湾分館	1995年			拓本
C	98	鄧相揚	霧社文史座談会	『水沙連』	3	南投·水沙連雑誌社	1996年	1月	73-80	
C	99	柳本通彦著／林淑恵訳	霧社証言　—0bin Tadao的半生（上）	『台湾史料研究』	7	台北·財団法人吳三連台湾史料基金会	1996年	2月	152-172	
C	100	洪徳麟	「霧社事件」的感人演出	『拾穂』	77	台北·拾穂雑誌社	1996年	3月	67	
C	101		霧社文史座談会　—雲深霧重碧血濃	『水沙連』	4	南投·水沙連雑誌社	1996年	4月	58-66	
C	102	柳本通彦著／林淑恵訳	霧社証言　—0bin Tadao的半生（下）	『台湾史料研究』	8	台北·財団法人吳三連台湾史料基金会	1996年	8月	167-181	
C	103	沈明仁	従泰雅族的出草文化看霧社事件	『台湾源流』	4	台中·台湾省各姓渕源研究学会	1996年	12月	99-101	
C	104	小泉鐵	台湾土俗誌			台北·南天書局	1997年	12月	327	小泉鐵『台湾灣土俗誌』（建設社、1936年）の復刻版
C	105	小泉鐵	蕃郷風物記			台北·南天書局	1997年	12月	332	小泉鐵『蕃郷風物記』（建設社、1933年）の復刻版
C	106	井上伊之助著／石井玲子訳	上帝在編織　Tominun utof			台南·人光	1997年	3月	364	
C	107	藤井志津枝	理蕃　—日本治理台湾的計策			台北·文英堂出版社	1997年	5月	304	
C	108	邱花妹	抗日最悲壮的名字　—莫那魯道	『天下雑誌』			1998年	1月	200	
C	109	張深切著／吳栄斌ほか編	張深切全集 第八巻			台北·文経出版	1998年	1月	341	「遍地紅　—霧社事件」(影劇小説)
C	110	鄧相揚	霧社事件			台北·玉山社出版事業	1998年	10月	142	「泰雅族的分布　／霧社地区泰雅族之分布　／霧社史話　／霧社抗日事件」
C	111	瓦歷斯·尤幹	Atayal　争戦1896-1930	文学台湾基金会編『虚構一九八七　第二屆台湾文学奨作品集』		髙雄·春暉出版	1998年	10月		第二屆台湾文学奨現代詩首奨
C	112	鄧相揚	霧重雲深　—霧社事件後、一個泰雅家庭的故事			台北·玉山社出版事業	1998年	11月	101	「出磊煙嵐一《霧重雲深》写作的心路歷程　／人物関係表：佐塚愛佑系統、下山治平系統　／霧重雲深　—霧社事件後，一個泰雅家庭的故事」
C	113	婦女救援基金会編	台湾慰安婦報告			台北·台湾商務印書館	1999年	7月	156-158	「慰安婦故事十四則　／9　烽火女児心」(157-158)
C	114	瓦歷斯·諾幹	霧社（1892～1931）	『文学台湾』		髙雄·文学台湾雑誌出版	1999年	7月		ワリス・ノカン著／中村ふじゑほか訳『台湾原住民文学選３永遠の山地』（東京・草風館、2003年）に収録。
C	115	曾応鐘	霧社事件有士流放地　—守護泰雅精神的清流部落	『中央綜合月刊』	32:8	台北：中央綜合月刊雑誌社	1999年	8月	116-118	
C	116	林徳龍	福爾摩沙実録　—理蕃政策的反弾　霧社事件	『松風』	9	台北·松風雑誌社	1999年	9月	34-35	
C	117	瓦歷斯·諾幹	台湾原住民文学的去殖民　—台湾原住民文学与社会的初歩観察	黄鈴華総編輯、台湾原住民文教基金会編『21世紀台湾原住民文学』		台北·台湾原住民文教基金会	1999年		36-51	
C	118	舞鶴	余生			台北·麦田	2000年	1月	288	
C	119	瓦歷斯·諾幹	霧社（1892～1931）	於張默、白霊主編『八十八年詩選』		台北·創世紀詩雑誌社	2000年	3月	145-151	ワリス・ノカン著／中村ふじゑほか訳『台湾原住民文学選３永遠の山地』（東京・草風館、2003年）に収録。

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	120	巫永福	霧社事件憶往	『新台湾新聞周刊』	240	台北·新台湾編輯小組	2000年	10月	72	
C	121	鄧相揚	風中緋桜　一霧社事件真相及花岡初子的故事			台北·玉山社出版事業	2000年	10月	175	
C	122	阿威赫抜哈／林道生訳	阿威赫抜哈的霧社事件証言			台北·台原芸術文化基金会	2000年	10月	223	台原文化叢刊 7
C	123	陳金順	南国哀歌交響詩	『台湾文芸』	172	台北·台湾文芸雑誌社	2000年	10月	14-15	闡南語詩、第22回鹽分地帯文学奨現代詩第一位
C	124	鍾肇政	鍾肇政全集7			桃園·桃園県立文化中心	2000年	12月	650	「馬黒坡風雲」「馬利科彎英雄伝」を所収
C	125	鄧相揚	霧社事件七十週年紀念	『水沙連』		南投·水沙連雑誌社	2001年	1月	12-19	
C	126	鄧相揚	風中緋桜　一霧社事件真相及花岡初子的故事	『水沙連』		南投·水沙連雑誌社	2001年	1月	20-29	
C	127	Yabu Syat、許世楷、施正鋒主編	霧社事件　一台湾人的集体記憶			台北·前衛出版社	2001年	2月	256	
C	128	尤哈尼·伊斯卡卡夫特(Yohani Iskakavut)	「霧社事件」在歴史以及今日的意義	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	1-4	
C	129	布興·大立(Pusin Tali)	為生命的細水長流而戦的霧社事件	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	5-17	
C	130	高徳明(Sivac Nabu)述／張秋雄(Walis Ukan)訳注	非人的境遇	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	19-69	
C	131	石麗玉(Kumu Iyung)	婦女記憶的現場　一霧社事件目撃者的見証	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	71-104	
C	132	鄧相揚	Gaya与霧社事件	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	105-134	
C	133	吉良芳恵著／邱若山訳	日本近現代史的霧社事件研究状況	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	135-154	
C	134	陳郁秀	以文化的層面看「霧社事件」	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	155-156	
C	135	〔全体討論〕	霧社事件的歴史宣伝	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	157-194	
C	136	曹永和	台湾歴史経験裏面的「霧社事件」	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	195-198	
C	137	張秋雄(Walis Ukan)	霧社事件七十週年回応文	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	199-221	
C	138	高萬金(Pusin Tali)	霧社事件発生的過程	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	223-239	
C	139	廬千恵	霧社事件七十週年紀念　一為生命做寛恕的見証	Yabu Syat、許世楷、施正鋒編『霧社事件　一台湾人的集体記憶』		台北·前衛出版社	2001年	2月	241-243	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	140	巴万·韃那哈(沈明仁)	霧社事件的歴史和解　—従gaya的観点談族群和解	施正鋒、許世楷、布興·大立編『従和解到自治　—原住民族歴史重建』		台北·前衛出版社	2001年	6月	253-269	
C	141	施正鋒	原住民族的歴史重建	施正鋒、許世楷、布興·大立編『従和解到自治　—原住民族歴史重建』		台北·前衛出版社	2001年	6月	305-332	
C	142	布興·大立(高萬金)	従霧社事件談原住民的自治	施正鋒、許世楷、布興·大立編『従和解到自治　—原住民族歴史重建』		台北·前衛出版社	2001年	6月	333-359	
C	143	蔡光慧、陳彦仲	反抗強権的泰雅族頭目　莫那魯道　1882-1930.12.1	詹素娟、浦忠成ほか著『台湾原住民』		台北·遠流出版	2001年	7月	112-119	近現代の台湾先住民20名を取り上げた小伝集。「台湾放軽鬆」シリーズ5。
C	144	林淵霖	1950年代的　霧社山中伝奇	『大地地理雑誌』	160	台北·大地地理出版事業公司	2001年	7月	42-51	
C	145	陳銘堯	莫那魯道	『台湾文芸』	177	台北·台湾文芸雑誌社	2001年	8月	4-5	
C	146	紀明宗	我的霧社	『第三届南投県文学奨得奨作品集』		南投·南投県文化局出版	2001年	10月		第三届南投県文学奨新詩正奨
C	147	藤井志津枝	台湾原住民史　政策篇			南投·台湾省文献委員会	2001年	12月	292	「第1編　日本治台時期的「理蕃」政策（1 日治初期「撫墾署」的「蕃政」(1895-1989) /2 樟脳利益与「蕃政」(1899-1901) /3「理蕃」政策的確立(1902-1906) /4「理蕃」政策的推進(1906-1914) /5「理蕃」政策的完成(1919-1945)）／第2編　光復後的原住民族政策（6 光復初期的「山地同胞」政策(1945-1950) /7 進口替代時期的「山地同胞」政策(1951-1962) /8 工業化時期的「山地同胞」政策(1963-1987) /9 戒厳之後原住民族政策的転変(1988以後)）
C	148	台湾原住民文教基金会主辦、水沙連芸文工作室協辦	台湾原住民「霧社抗日事件」田野調査工作計画調査報告			台北·行政院原住民委員会	2001年		113	
C	149	瓦歴斯·諾幹(余光弘)	台湾原住民史　泰雅族史編			南投·国史館台湾文献館	2002年	12月	190	「1　導論　／2　口述歴史時代　／3　部落的形成　／4　対外関係与納入国家体系　／5　日拠時代　／6　進入新国家」
C	150	高萬金	従霧社事件談原住民族的自治	『台湾神学論刊』	24	台北·台湾神学院	2002年	3月	167-187	
C	151	戴国煇著／林彩美編	戴国煇文集6　台湾史探微			台北·遠流	2002年	4月	284	「1　晩清与日帝時期台湾史　／1-3　霧社抗日蜂起与高砂義勇隊」
C	152	戴国煇著／魏廷朝訳	戴国煇文集10・11　台湾霧社蜂起事件研究与資料　上・下			新店·国史館	2002年	4月	350+484	
C	153	簡鴻模、依婉·貝林	Alang Baiqe(眉渓部落)生命史			南投·原住民同舟協会、台北·永望文化出版	2002年	6月	560	泰雅族賽徳克亜支徳克達雅群部落生命史調査研究 1
C	154	簡鴻模編	人止関事件　—百週年紀念専刊			台北·永望文化出版	2002年	8月	86	
C	155	洪長源	莫那魯道古戦場巡礼	『台湾月刊』	236	南投·台湾省政府	2002年	8月	66-68	
C	156	葉国居	我族的祭典与父親的戦事	『第一届玉山文学奨作品集』		南投·南投県文化局出版	2002年	9月		第一届玉山文学奨佳作
C	157	簡鴻模、依婉·貝林、郭明正	清流部落生命史　Ltlutuc Knkingan Sapah Alang Gluban			南投·原住民同舟協会、台北·永望文化出版	2002年	10月	616	泰雅族賽徳克亜支徳克達雅群部落生命史調査研究 2
C	158	鍾肇政	鍾肇政全集9			桃園·桃園県立文化中心	2002年	12月	707	「高山組曲」（「川中島」「戦火」）を収録
C	159	伍聖馨(Abus)	戦在霧社	『台湾原住民漢語文学選集詩歌巻』		台北·印刻出版	2003年	3月		第二届中華汽車原住民文学奨詩歌第二位（2001年）

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	160	姑目·苔芭糸	挖掘記憶, 重塑歴史　—従霧社事件口述歴史談起	『道雑誌』	13	台北·台湾神学雑誌社	2003年	4月	49 - 64	
C	161	陳俊豪、劉素珍插画、江育翰摂影	霧社事件　—莫那・魯道的眼涙与憤怒	『少年台湾』	14	台北·少年台湾雑誌社	2003年	7月	42-67	
C	162	何輝慶	一九三〇年霧社事件　—従一件当年的非常郵便談起	『中国郵刊』	76	台北·中国集郵協会	2003年	8月	34-36	
C	163	謝肇禎	群慾乱舞　—論舞鶴小説中的性政治			台北·麦田出版社	2003年	9月	272	
C	164	張炎憲	花岡一郎写給浅井恵倫的信	『台湾風物』	53:3	台北·台湾風物雑誌社	2003年	9月	9-16	
C	165	陳乃菁	鄧相揚　霧社事件譲他魂牽夢繋	『新台湾新聞周刊行』	398	台北·新台湾編輯小組	2003年	11月	70	
C	166	簡鴻模、依婉·貝林	中原部落生命史 Patis Ltlutuc Rudan Knkingan Sapah Alang Nakahala			南投·原住民同舟協会、台北·永望文化出版	2003年	11月	1074	泰雅族賽德克亜支徳克達雅群部落生命史調査研究 3
C	167	田哲益	泰雅族最閃耀的名字莫那・魯道霧社蜂起	『台湾源流』	25	台中·台湾省各姓渕源研究学会	2003年	12月	138-146	
C	168	李展平	抗日英雄　—莫那魯道移霊記	『台湾文献』	別冊7	南投·台湾省文献委員会	2003年	12月	17-21	
C	169	何聡明訳	日本人筆下的「霧社事件」	『台北文献直字』	146	台北·台北市文献委員会	2003年	12月	305-310	
C	170	卞鳳奎訳	霧社事件日人派遣捜索隊及軍隊出動行動状況表	『台北文献直字』	146	台北·台北市文献委員会	2003年	12月	311-332	
C	171	簡鴻模	Alang Tongan(眉渓)口述歴史与文化			台北·輔仁大学出版社	2003年		318	
C	172	李筱峰、荘天賜	快読台湾歴史人物（一）			台北·玉山社	2004年	1月	248	「反抗不義的領袖（莫那魯道）」
C	173	鄧相揚原作／萬仁監督	風中緋櫻			台北·玉山社	2004年	2月		脚本、DVD
C	174	伊萬·納威	歌謡中的族語　—「風中緋櫻　霧社事件」賽徳克族伝統統歌謡改編賞析	『台湾原YOUNG　原住民青少年雑誌』	1	台北·行政院原住民族委員会	2004年	3月	18-21	
C	175	陳思嫻	穿越迷霧,重看一季緋櫻　—霧社歴史之旅	『台湾文学館通訊』	3	台南·国立台湾文学館	2004年	3月	28-33	
C	176	劉亮雅	弁証復振的可能　—舞鶴《余生》中的歴史記憶、女人與原郷追尋	『中外文学』	32:11	台北·中外文学月刊社	2004年	4月	141-163	
C	177	河原功	台湾新文学運動的展開　—与日本文学的接点			台北·台湾全華科技図書	2004年	3月	279	
C	178	鄧相揚	永遠的英雄　—莫那・魯道	『台湾原YOUNG　原住民青少年雑誌』	1	台北·行政院原住民族委員会	2004年	3月	13-17	
C	179	朱天心、舞鶴	朱天心対談舞鶴	『印刻文学生活誌』	創刊7	台北·印刻文学生活雑誌	2004年	3月	26-49	
C	180	Kumu Tapas (姑目·苔芭絲)	部落記憶　—霧社事件的口述歴史　Ⅰ			台北·翰芦図書	2004年	5月	474	「1　挖掘記憶、重遡歴史　／2　交会在巴蘭部落的歴史記憶　／3　賽徳克部落観点的歴史記憶」
C	181	Kumu Tapas (姑目·苔芭絲)	部落記憶　—霧社事件的口述歴史　Ⅱ			台北·翰芦図書	2004年	5月	409	「1　緒言　／2　巴蘭部落為核心的歴史現場　／3　巴蘭記憶再現歴史詮釈問題　／4　挖掘記憶砌造歴史和解之路」
C	182	李展平	用鮮血掙来的霧社農校	『台湾文献　別冊』	10	南投·台湾省文献委員会	2004年	9月	50-55	
C	183	魏徳聖原作脚本／厳云農小説	賽徳克・巴莱			台北·平裝本出版有限公司	2004年	10月	320	
C	184	張以牧	霧社事件述評	『新使者』	84	台北·新使者雑誌社	2004年	10月	66-70	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	185	尾崎秀樹著／陸平舟、間ふさ子共訳	旧殖民地文学的研究（台湾新文学史論叢刊8）			台北·人間出版社	2004年	11月	398	「霧社事件与文学」
C	186	李宗信	勇渡彩虹僑　—莫那魯道	財団法人公共電視文化事業基金会『台湾百年人物誌1』		台北·玉山出版社	2005年	1月	112-118	
C	187	余玉琦	新詩　—破砕之霧：霧社事件与「賽徳克・巴萊」試拍片段観後	『幼獅文芸』	615	台北·幼獅文化事業股份有限公司	2005年	3月	77-79	
C	188	李宗信	莫那魯道　—勇渡彩虹橋	財団法人公共電視文化事業基金会『台湾百年人物誌1』		台北·玉山社	2005年	3月	112-118	
C	189	蕭菊貞	鏡頭下的歴史傷痕	財団法人公共電視文化事業基金会『台湾百年人物誌1』		台北·玉山社	2005年	3月	119	
C	190	黄慧敏	台湾史詩電影　—賽徳克・巴萊:魏徳聖籌拍「霧社事件」莫那魯道的故事	『新聞大舞台』	24	台北·財団法人中央通訊社	2005年	6月	98-99	
C	191	陳良智	従霧社事件引発信仰反省一、二件	『新使者』	89	台北·新使者雑誌社	2005年	8月	73 - 75	
C	192	宋秀環	菁英探討　—日治時期原住民人物典型	『台湾教育史研究会通訊』	41	台北·台湾教育史研究会	2005年	11月	8-12	
C	193	簡鴻模	従杜魯湾東遷花蓮Tgdaya部落生命史　Patas Ltlutuc Seediq Tgdaya Truwan Wada Tnheruy Bbuwan Hido			南投·原住民同舟協会、台北·永望文化出版	2005年	12月	872	泰雅族賽徳克亜支徳克達雅群部落生命史調査研究 4
C	194	莫渝	江自得的〈賽徳克悲歌〉	『笠』	251	台北·笠詩刊社	2006年	2月	442	
C	195	姚嘉文	霧社人止関			台北·草根出版	2006年	3月	310	
C	196	鄧相揚	以愛報仇　—行医山地部落的井上伊之助	経典雑誌編『台湾慈善四百年』		台北·経典雑誌	2006年	5月	108-117	
C	197	張志祥	「神入」的歴史教学新嘗試　—以「霧社事件」為例	『清華歴史教学』	17	新竹·国立清華大学歴史研究所	2006年	5月	88-100	
C	198	鄧相揚主講、瓦歴斯·諾幹作、吳謹文字謄錄	風中緋櫻　—霧社事件	『台湾文学館通訊』	12	台南·国立台湾文学館	2006年	9月	38-43	
C	199	鄧相揚文／邱若龍画	莫那・魯道			台北·東華書局	2006年	12月	31	
C	200	莫渝	台湾詩人群像			台北·秀威資訊出版	2007年	5月	193-198	「江自得的〈賽徳克悲歌〉」
C	201	邱国禎	近代台湾史慘史档案			台北·前衛	2007年	6月	576	「石塚総督為霧社事件負起政治責任」(35-36)
C	202	巫育荃	消失的憤怒　—日治晩期藤沢衛的原住民心理学実験	『新史学』	18:2	台北·新史学雑誌社	2007年	6月	103-155	
C	203	劉育玲	神話的詮釈与運用　—従姑目・荅芭糸《部落記憶　—霧社事件的口述歴史》中三則神話伝説談起	『台湾文学学報』	10	台北·政治大学中国文学系	2007年	6月	197-225	
C	204	蕭明礼	後殖民研究的去脈絡化困境与転機　—述評荊子馨著，鄭力軒訳，《成為「日本人」—殖民地台湾与認同政治》	『台大歴史学報』	39	台北·台湾大学歴史学研究所	2007年	6月	369-384	
C	205	王慧芬	舞鶴《余生》中的多重歴史記憶	『人文研究学報』	41:2	台南·国立台南大学	2007年	10月	59-78	
C	206	下次作次郎著／張婷婷、曽麗蓉訳	連結相扣的帝国物語　—吳鳳・霧社事件・「莎蓉之鐘」(下次作次郎専題演講)	『台湾文学館通訊』	17	台南·国立台湾文学館	2007年	11月	32-37	
C	207	吳密察	霧社事件	『新活水』	16	台北·国家文化総会	2008年	1月	66-72	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
C	208	林麗如	歴史与記憶　—舞鶴小説研究			台北·大安出版社	2008年	5月	267	
C	209	布興·大立, Pusin Tali	自治是原住民族的唯一活路			台北·前衛	2008年	10月	280	「5　従霧社事件談原住民自我解放与堅持持自治的奮闘　／6　論霧社事件中原住民族自治的意義　／7　為生命的細水長流而戦的霧社事件　／8　為原住民宗教自由而戦的霧社事件」
C	210	鄧相揚	霧社事件始末	『印刻文学生活誌』	5:4	台北·印刻文学生活雑誌	2008年	12月	78-87	
C	211	竹中信子	日治台湾生活史　—日本女人在台湾（昭和篇 1926-1945）上			台北·時報出版	2009年	1月	512	「第五章　霧社事件中的女性」
C	212	鄭静穂	Gaya精神的展現与彰顕　—論鍾肇政霧社事件系列書写之詮釈観点	『台北教育大学語文集刊』	15	台北·台北教育大学	2009年	1月	133-165	
C	213	張雪君	国小社会教師「因果関係」概念的教学　—以「霧社事件」為例	『南投文教』	28	南投·南投県政府	2009年	2月	82-87	
C	214	丁予竜	反叛的書写　—舞鶴的霧社事件話語	『彰化師大国文学誌』	18	彰化·国立彰化師範大学国文学系	2009年	6月	195-22	
C	215	陳昭瑛	台湾文学与本土化運動			台北·国立台湾大学出版中心	2009年	10月	396	「1　古典文学与原住民文学（文学的原住民与原住民的文学—従「異己」到「主体」）」（陳昭瑛『台湾文学与本土化運動』（正中書局、1998年）の新版）
Ⅱ-ii		**文献目録**								
D	1	中島利郎編	日據時期台湾文学雑誌　総目・人名索引（改訂版）			台北·前衛出版社	1995年	1月	150	
D	2	林恵美、小山綾子	日文台湾原住民研究文献目録	『台湾原住民研究論叢』	4	台北·台湾原住民教授学会	2008年	12月	191-240	
Ⅱ-iii		**修士論文、博士論文**								
E	1	高萬金	従原住民的観点探討霧社事件的神学意義及其宣教神学的応用		修論	台湾·東南亜神学研究院	1991年		127	
E	2	林淑媛	霧社事件余辜之研究(1895-1945)		修論	台中·東海大学歴史研究所	1992年		111	
E	3	黄靖雅	鍾肇政小説研究		修論	台北·東呉大学中国文学研究所	1994年			
E	4	胡暁俠	日拠時期理蕃事業下的原住民集団移住之研究		修論	桃園·中原大学建築(工程)学系	1996年		208	「1　緒論　／2　理蕃初期的原住民集団移住（1895-1905年）／3　威圧理蕃時期的原住民集団移住（1906-1904年）　／4　威撫理蕃時期的原住民集団移住（1915-1930年）／5　新理蕃政策下的原住民集団移住（1931-45年）　／6　結論」
E	5	大原美智	坂口樗子　—日人作家的台湾経験		修論	台南·国立成功大学歴史研究所	1997年			
E	6	伊象菁	原住民文学中辺縁論述的排除与建構　—以瓦歴斯·諾幹与利格拉楽·阿烏為例		修論	台中·静宜大学中国文学研究所	2002年		178	
E	7	劉錦燕	後殖民的部落空間　—析論瓦歴斯·諾幹“台湾当代原住民文学”的主体建構		修論	彰化·国立彰化師範大学国文学系在職進修専班	2002年		131	
E	8	謝肇禎	群慾乱舞　—論舞鶴小説中的性政治		修論	台中·静宜大学中国文学研究所	2002年		180	
E	9	林純芬	張深切及其劇本研究		修論	台中·静宜大学中国文学研究所	2003年		408	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
E	10	林素珍	日治後期的理蕃　—傀儡与愚民的教化政策(1930-1945)		博論	台南·国立成功大学歴史学系	2003年		308	「1　緒論　／2　日治前期理蕃政策之沿革　／3　日治後期理蕃政策之形成　／4　日治後期理蕃政策之展開　／5　日治後期理蕃政策教化之内涵　／6　日治後期理蕃政策教化之成效　／7　結論」
E	11	林美華	鍾肇政大河小説中的殖民地経験		修論	台南·国立成功大学歴史学系	2004年		177	
E	12	楊明慧	台湾文学薪伝的一個案例　—由呉濁流到鍾肇政・李喬		修論	台中·東海大学中国文学系	2004年		130	
E	13	曽盛甲	鍾肇政小説郷土情懐之研究　—以《大壩》与《大圳》為例		修論	台北·国立台湾師範大学国文系在職進修修士学位班	2004年		214	
E	14	郭慧華	鍾肇政小説中的原住民図像書写		修論	台北·国立台湾師範大学国文系在職進修修士学位班	2004年		243	
E	15	黄素珍	坂口襌子之小説研究　—以日本統治期在台期間之小説研究為中心		修論	台北·淡江大学日本研究所	2004年		96	
E	16	巫育荃	「病態」的民族　—日治晩期台湾的民族性精神疾病史		修論	新竹·国立清華大学歴史研究所	2005年		218	「第三章　自殺、蛮性与精神変質　／第四章　消失的「憤怒」」
E	17	洪正龍	台湾文壇的坂口襌子		修論	高雄·国立高雄第一科技大学応用日語所	2005年		160	
E	18	李玉華	台湾原住民文学的発展歴程与主体意識的建構		修論	台中·逢甲大学中国文学所	2005年		224	
E	19	林瓊玉	従口伝到創作　—試論原住民的生命之樹		修論	台中·国立中興大学中国文学系	2005年		144	
E	20	曽巧雲	未完成進行式　—戦前、戦後的皇民文学論争/述		修論	台南·国立成功大学台湾文学研究所	2005年		117	
E	21	邱志雄	台湾原住民族青年従軍与原住民族文化発展之探討　—以募兵制為例		修論	台北·国防部政治作戦学校政治研究所	2005年			
E	22	鄭元慶	遥迢還村路　——九二一震災重建瑞岩部落還村紀実片		修論	台北·国立台湾芸術大学応用媒体芸術研究所	2005年		88	
E	23	曹金龍	霧社紀念碑空間解構之研究		修論	台北·淡江大学建築学系	2005年		190	「1　前言　／2　文献回顧　／3　霧社紀念碑（公園）空間解構、記憶与重組　／4　結論与建議」
E	24	依婉·貝林	Utux、空間、記憶与部落建構　—以alang Tongan与alang Sipo為主的討論		修論	花蓮港·国立東華大学民族発展研究所	2006年		169	
E	25	林麗如	歴史与記憶　—舞鶴小説研究		修論	桃園·国立中央大学中国文学系修士在職専班	2006年		173	
E	26	鳳気至純平	中山侑研究　—分析他的「湾生」身分及其文化活動		修論	台南·国立成功大学台湾文学研究所	2006年		141	
E	27	許鈞淑	霧社事件文本的記憶与認同研究		修論	台南·国立成功大学台湾文学研究所	2006年		157	「1　緒論　／2　「蕃人」是我們台湾人的兄弟（1930-1945）　／3　我們都是中国人（1945-1985）　／4　台湾人的集体記憶（1985-）　／5　結論」、付録「霧社事件文本総目」「戦後「霧社事件」相関事件記」
E	28	許光武	帝国之眼　—日本殖民者与他的「它者」台湾		博論	台北·国立政治大学東亜研究所	2006年		165	
E	29	鄭光博	懐念、遙想泰雅故郷的根源　—従祖源観念争議論当代「泰雅族」歴史記憶的建構 Sm' inu puqing kinhulan na Tayal		修論	台北·国立政治大学民族研究所	2006年		89	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
E	30	陳東真	多元文化論在国中社会学習領域歴史教学上的応用　—以台湾史教科書中有関原住民的論述為例		修論	台北·国立台湾師範大学歴史学系在職進修	2006年		337	
E	31	曽大偉	佐藤春夫文学中的異文化書写　—以<旅人><霧社>為中心		修論	台北·輔仁大学日本語文学系	2006年		109	
E	32	魏貽君	戦後台湾原住民族的文学形成研究		博論	台南·国立成功大学台湾文学研究所	2007年		457	
E	33	廖婉如	祖霊的凝視　—瓦歴斯·諾幹作品研究		修論	台北·国立政治大学国文教学修士学位班	2007年		268	
E	34	許恵文	戦後非原住民作家的原住民書写		修論	台中·静宜大学中国文学研究所	2008年		142	
E	35	傅素春	霧社事件的歴史、文学、影像之弁証		博論	台中·中興大学中国文学系所	2008年		395	「1　緒論　／2　殖民情境的前理解与霧社事件　／3　歴史的「客観性」　／4　霧社事件的史述形態　／5　漢人叙事詩与「我族」記憶書写　／6　事件史的編織与抛棄　—従大河小説到後現代　／7　撮影与影像文本的後殖民反思　／8　結論　—記憶、文化、原住民族」
E	36	宮本卓大	日治時期婦女団体角色与形象之研究　—以愛国婦人会為主		修論	台中·東海大学歴史学系	2008年		136	
E	37	曽育芬	賽徳克族与太魯閣族的歌楽系統研究　—兼論其音楽即興的運作与思惟		博論	台北·国立台北芸術大学音楽学系	2008年		950	
E	38	羅中琦	台湾原住民長篇歴史小説研究　—以漢族作者為主的観照		博論	台北·国立台湾大学中国文学研究所	2008年		419	
E	39	石丸雅邦	台湾日本時代的理蕃警察		博論	台北·国立政治大学政治研究所	2008年		516	「緒論　／1台湾総督府下的理蕃体制　／2理蕃警察的組織与制度　／3理蕃警察的任務　／4理蕃警察在蕃社的地位　／5理蕃警察的政治関係　／結論」
E	40	林文徳	霧社事件影響三群族群関係研究		修論	台北·国立政治大学民族研究所	2008年		243	「緒論　／1　南投賽徳克三族群之分類与互動　／2　「操縦」三族群関係之霧社事件（1「理蕃」政策下的「霧社」/2被「操縦」的「味方蕃」与「抗日蕃」/3　霧社事件対三族群関係的影響）　／3　国府「山胞」政策下的賽徳克三族群関係　／4　基督教派対賽徳克三族群之影響　／結論」
E	41	廖明潔	国民小学社会科教科書中的原住民族形象研究		修論	台北·台北市立教育大学課程与教学研究所	2008年		289	
E	42	曽令毅	日治時期台湾航空発展之研究　1906-1945		修論	台北·淡江大学歴史学系	2008年		258	「緒論　／1台湾航空肇始与理蕃政策　／2警察航空班的「空中理蕃」　／3軍方与民用航空的発展　／4学生航空教育的開展　／5少年飛行兵与軍事動員　／結論」
E	43	辛啓緯	舞鶴小説中的史地書写研究		修論	高雄·国立高雄師範大学国文学系	2009年		140	
E	44	邱正略	日治時期埔里的殖民統治与地方発展		博論	南投·国立暨南国際大学歴史学系	2009年		437	「緒論　／1地理環境与行政変遷　／2統治方針与重大事件因応措施（統治方針的形成/理蕃政策与産業調査/影響埔里的重大事件）　／3土地開発与地方発展　／4人口変遷与族群結構　／5地方菁英与埔里的発展　／6埔里街政与街民生活　／結論」
E	45	朱文詳	従部落文化看泰雅文学之英雄形象		修論	桃園·中興大学中国文学系所	2009年		198	
E	46	櫪木照子	中村地平的「台湾観」		修論	台中·中興大学中国文学系所	2009年		137	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
E	47	林蔚儒	帝国左翼与台湾書写　—伊藤永之介台湾作品研究		修論	台北·国立政治大学台湾文学研究所	2009年		206	
E	48	邱雅芳	南方作為帝国慾望　—日治時期日人作家的台湾書写		博論	台北·国立政治大学中国文学研究所	2009年		327	「1序論　／2認識台湾　—1910年代前後官方観点与民間観点下的台湾　／3帝域与異域　—1920年代佐藤春夫的南方体験　／4彼岸的南方　—1930到1940年代中村地平与真杉静枝的台湾印象　／5西川満与台湾場域下的外地文学　／6結論」
E	49	田若韻	論余生者的意義治療　—以舞鶴小説為本		修論	台北·国立台湾師範大学国文学系在職進修	2009年		170	
E	50	黄舒品	帝国観看下的「台湾」　—日本文化人旅遊紀行中的権力論述、地方与性別		修論	台北·国立台湾師範大学台湾史研究所	2009年		148	「1序論　／2同文異化中的帝国視野　—以佐倉孫三《台風雑記》探討日拠初期的文化機制　／3殖民地文化的想像·観看与書写　—以佐藤春夫的《殖民地之旅》為探討中心　／4独特的殖民地観看方式　—北村兼子《新台湾行進曲》中地方社会的記載　／5対立的殖民地観看与展示手法　—以林歌子·林芙美子·野上弥生子·佐多稲子的紀行文為例　／6潜在帝国陰影的投射　—真杉静枝《嘱咐》《南方紀行》中殖民政策下的台湾書写　／7結論」
E	51	方玉如	太魯閣族的正名運動与族群認同之研究		修論	台北·台北市立教育大学社会科教育学系	2009年		152	
E	52	廖子翔	1930年発生於霧社的事件之空間与族群脈絡		修論	台北·淡江大学建築学系修	2009年		168	
E	53	林慧君	日拠時期在台日人小説重要主題研究		博論	台北·淡江大学中国文学系	2009年		256	
Ⅲ-ⅰ　書籍、雑誌論文・記事、資料の翻刻・翻訳等										
F	1	陳国強	台湾霧社起義	『中国民族』	10	北京·中国国家民族事務委員会	1980	10	33	
F	2	陳民	1930年的台湾高山族霧社起義	『歴史教学　高校版』	11	天津·歴史教学社	1982	11	18-20	
F	3	王慧琴	高山族霧社起義	『文史雑誌』	2	四川·四川省文史研究館、四川省人民政府参事室	1985	2	8-9	
F	4	胡起望	従日本的国会弁論看霧社起義	『民族研究』	6	北京·中国社会科学院民族研究所	1985	6	32-37	
F	5		知識荟萃　〔“霧社起義”是怎么回事?〕	『中国民族』	7	北京·中国国家民族事務委員会	1985	7		
F	6	陳孔立	霧社65周年祭	『台湾研究』	3	北京·中国社会科学院台湾研究所、台湾研究会	1995	9	35-36,41	
F	7	林海音	霧社英魂祭　—一個不甘圧迫的民族的血故事	『英子的心』		北京·人民日報出版社	1996	1		
F	8	陸茂清	壮哉!台湾霧社起義（下）	『上海対台工作』	5	上海·中共上海市委台湾工作辦公室、上海市人民政府台湾事务辦公室	2000	5	35	
F	9	陸茂清	壮哉!台湾霧社起義	『民国春秋』	5	江蘇·江蘇古籍出版社	2000	10	21-24	
F	10	張偉	回望高山族人民抗日霧社起義	『文史月刊』	4	山西·山西省政協文史資料委員会	2005	4	43-45	
F	11	蒋春発、劉東華	碧血丹心 永志霧社	『統一論壇』	5	北京·中国和平統一促進会	2005	10	33-35	

		著者	題名	所収書名・雑誌名	巻号	発行者	発行年	月	頁	備考
F	12	許俊章	弘揚愛国伝統 企盼祖国統一 ――記“京津台胞紀念抗日戦争勝利60周年 暨台湾光復60周年、台湾霧社起義75周年座談会”活動	『台声』	11	北京·中華全国台湾同胞聯誼会	2005	11	28	
F	13	史式、黄大受	台湾先住民史（増訂版）			北京·九州出版社	2006	9	344	「第三章 台湾先住民的歴史 ／三 日本侵略台湾史実（中日交往源流流長 ／日本四百年前就想滅亡中国 ／牡丹社事件 ／日本要把台湾先住民斬尽殺絶 ／霧社起義的経過 靖国神社的真相」 （史式、黄大受編『台湾先住民史』（九洲図書、1999年）の増訂版）
F	14	劉元如編	台湾少数民族研究論叢 第Ⅶ巻			北京·民族出版社	2007	12	448	「“霧社起義”和高山族的愛国伝統」
F	15	中村平	分有される植民地暴力の記憶 ―日本人ジャーナリストによる台湾先住民族の民族誌的記述	『日本文化学報』		韓国·韓国日本文化学会	2008	11	249-273	
F	16	Leo T.S. Ching	Savage Construction and Civility Making: The Musha Incident and Aboriginal Representations in Colonial Taiwan	Positions: East Asia Cultures Critique	8:3	Durham:Duke university press	2000	Winter	795-818	
F	17	Leo T.S. Ching	“Give Me Japan and Nothing Else!”: Postcoloniality, Identity, and the Traces of Colonialism	The South Atlantic Quarterly	99:4	Durham:Duke university press	2000	Fall	763-788	
F	18	Leo T.S. Ching	Becoming "Japanese": Colonial Taiwan and the Politics of Identity Formation			Berkeley:University of California Press	2001		251	"From Mutineers to Volunteers: The Musha Uprising and Aboriginal Representations of Savagery and Civility" (133-173)
F	19	Fix, Douglas	review: Becoming "Japanese": Colonial Taiwan and the Politics of Identity Formation	China Review International	10:1	Honolulu:University of Hawai·i	2003	Spring	114-120	
F	20	Thomas, Julia Adeney	review: Becoming "Japanese": Colonial Taiwan and the Politics of Identity Formation	Journal of Colonialism and Colonial History	3:2	Baltimore:The Johns Hopkins University Press	2002	Fall		
F	21	Barclay, Paul D.	Cultural Brokerage and Interethnic Marriage in Colonial Taiwan: Japanese Subalterns and Their Aborigine Wives, 1895-1930	The Journal of Asian Studies	64:2	Michigan:Association for Asian Studies	2005	5	323-360	
F	22	Kono, Kimberly Tae	Writing Colonial Lineage in Sakaguchi Reiko's 'Tokeiso'	Journal of Japanese Studies	32:1	Washington:Society For Japanese Studies	2006	Winter	83-117	
F	23	Tierney, Robert	Ethnography, Borders and Violence: Reading between the Lines in Sato Haruo's Demon Bird	Japan Forum	19:1	Oxford:British Association for Japanese Studies	2007	3	89-110	